

1 調査の概要

(1) 調査目的

「津島市環境基本計画」の策定にあたり、市民及び事業者の環境に対する意識、環境保全の取組状況等を把握することを目的として、市民意識調査を実施した。

(2) 調査対象・方法

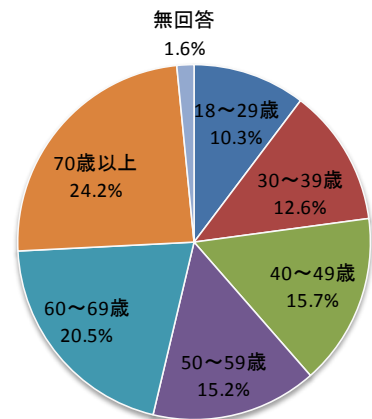
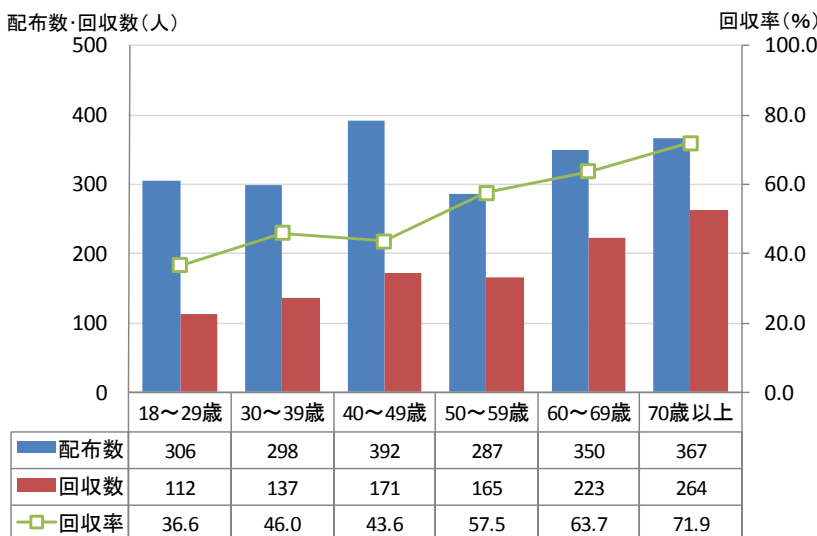
調査対象は、住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民2,000人、市内に事業所を有する300事業者、市内公立中学校2年生生徒246人、市内公立小学校5年生児童290人とした。

調査方法は、18歳以上の市民及び市内事業者は郵送配布・郵送回収とし、市内公立中学校生徒及び小学校児童は各学校を通じて配布・回収を行った。

[回収結果]

調査対象者	配布数 (通)	回収数 (通)	回収率 (%)
18歳以上の市民	2,000	1,089	54.5
市内事業者	300	133	44.3
市内公立中学校2年生生徒	246	222	90.2
市内公立小学校5年生児童	290	281	96.9
(現行計画策定時) 15歳以上の市民	2,000	1,078	53.9

[参考] 市民の年齢別の回収割合



2 市民（18歳以上）・小中学生の調査結果

津島市の現在の環境について

【市民】

(N=1,089)

あなたは、津島市の環境について、どの程度満足していますか。各項目について、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・満足（満足、まあ満足を含む）の回答割合が高い項目

- ① 安全な食品を買うことができる 72.1%
- ② おいしい水を飲むことができる 64.7%
- ② リサイクルが進んでいる 64.7%

・不満（不満、やや不満を含む）の回答割合が高い項目

- ① フンが放置されていない 74.4%
- ② ごみのポイ捨てや不法投棄がない 69.8%
- ③ 自然度の高い環境が残っている 67.5%

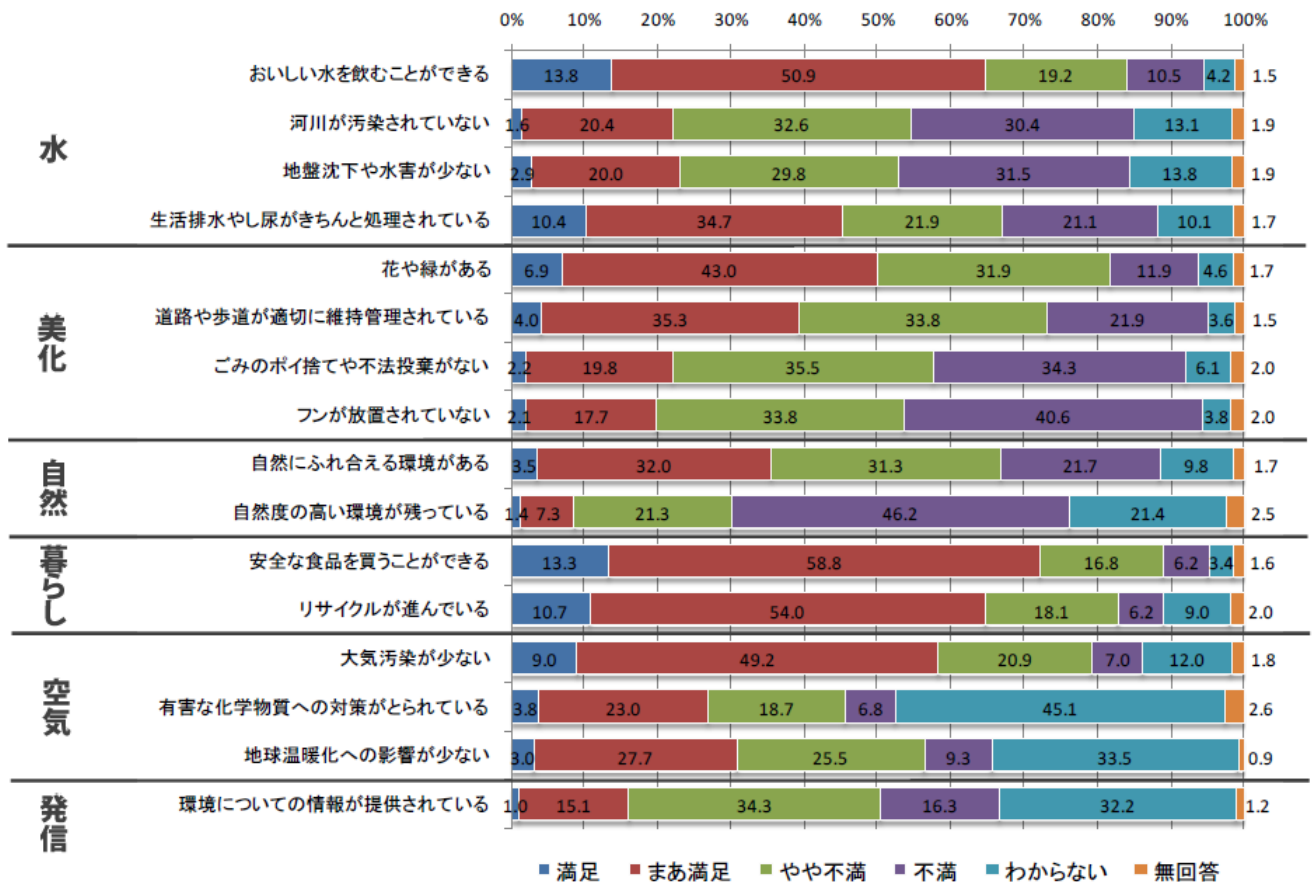


図1 津島市の現在の環境の満足度（市民）

【小中学生】

(中学生 N=222、小学生 N=281)

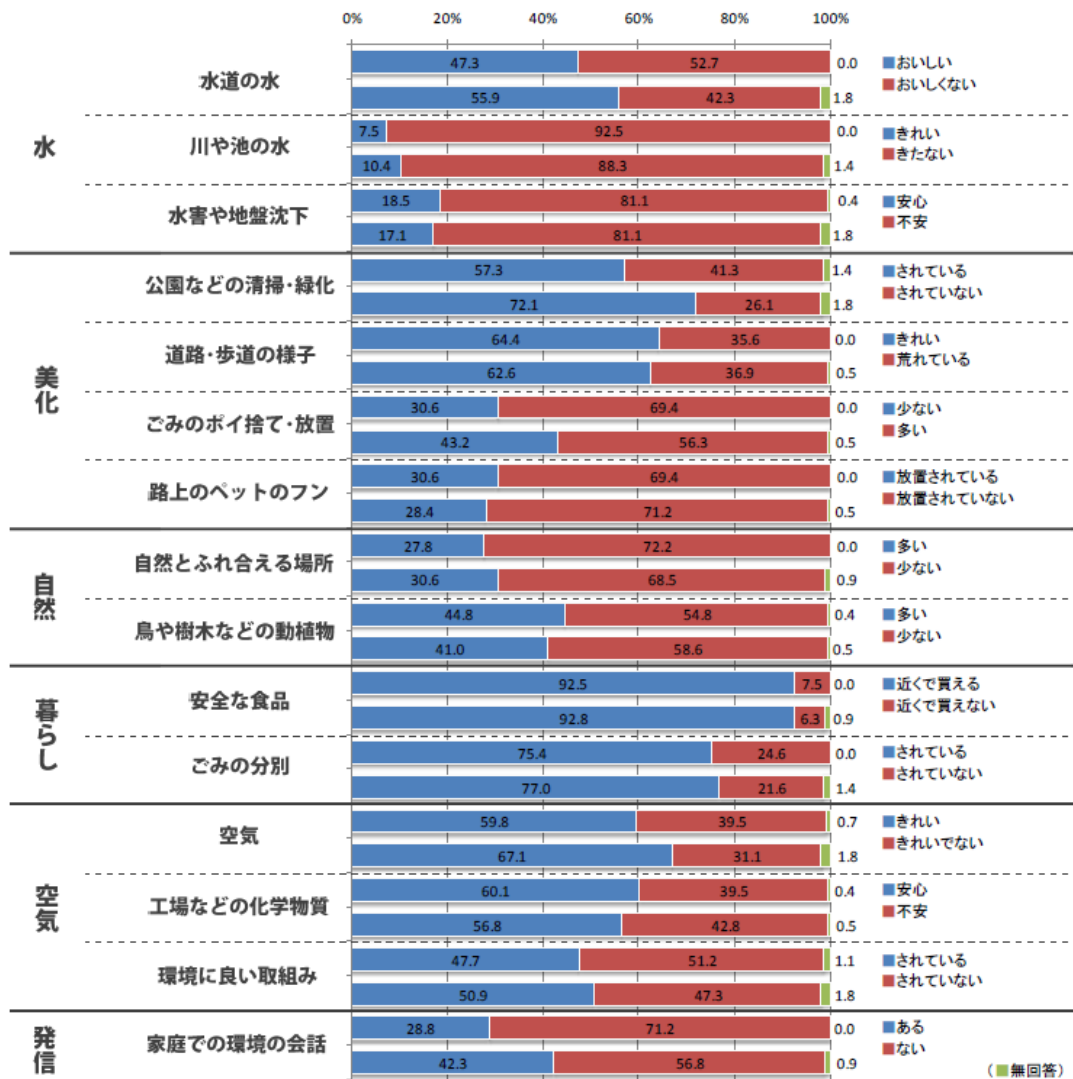
あなたの身の回りの環境などについて、どのように感じていますか。次の質問について、それぞれ自分の考えに近いものの番号に○を付けてください。

・ 満足の回答割合が高い項目

- ① 安全な食品を近くで買うことができる 中学生 92.5%、小学生 92.8%
- ② ごみの分別がされている 中学生 75.4%、小学生 77.0%
- ③ 公園などの清掃・緑化がされている 中学生 57.3%、小学生 72.1%

・ 不満の回答割合が高い項目

- ① 川や池の水がきれい 中学生 92.5%、小学生 88.3%
- ② 水害や地盤沈下が安心 中学生 81.1%、小学生 81.1%
- ③ 自然とふれ合える場所が多い 中学生 72.2%、小学生 68.5%



※各項目の上段が中学生、下段が小学生の回答

図2 津島市の現在の環境の満足度（小中学生）

- 「安全な食品を買うことができる」や「リサイクルが進んでいる」など、暮らしに関する項目の満足度が高く、市民も小中学生もほぼ同じ感覚であることがわかる。
- 市民では、「有害な化学物質への対策がとられている（45.1%）」、「地球温暖化への影響が少ない（33.5%）」、「環境についての情報が提供されている（32.2%）」の項目について、わからないという回答の割合が高い。
- 小中学生は、河川や池の水が汚いと感じていたり、地盤沈下や水害について不安を感じているなど、水に関する不満の回答割合が高いのに対し、市民はごみのポイ捨てや不法投棄、フンの放置などに関する不満の回答割合が高いことがわかる。
- 中学生と小学生では、「家庭での環境の会話がある」の回答割合に比較的大きな差がみられ、中学生では、小学生と比べて家庭での環境に関する会話が少なくなっている。

環境保全の取組みについて

【市民】

(N=1,089)

あなたは、環境問題について、どの程度関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

- ・市民の84.8%が環境問題に関心を持っている。
- ・50歳以上では、86%以上が環境問題に関心を持っている。一方で、18～29歳では、関心がある割合が71.4%であり、22.3%が環境問題に関心がないと回答している。

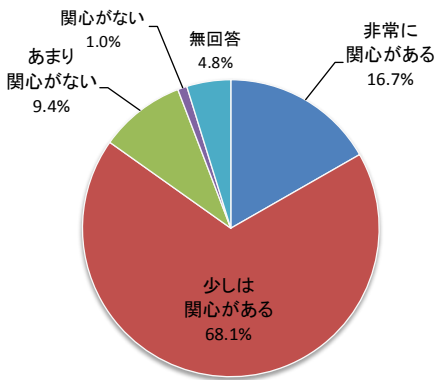


図3 環境問題への関心

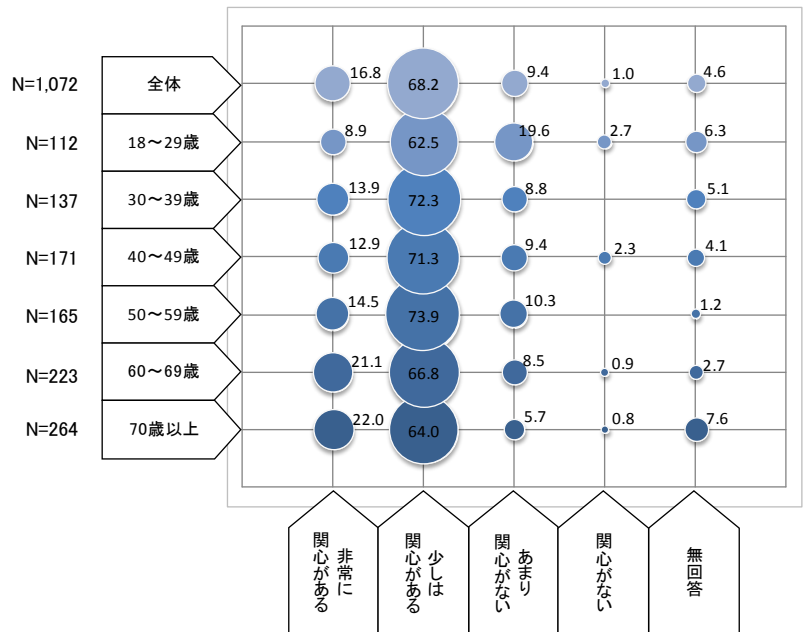


図4 「環境問題への関心」と「回答者の年齢」のクロス集計結果

【市民】

(N=1,089)

環境保全への意識に関する次の各項目について、あなたの考えに近いものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

- ・将来の世代のために私たちが環境の保全・改善に努めるべき 90.9%
- ・今後の社会は今よりも環境が良くなっていく 53.0%
- ・環境の保全・改善のために税金が高くなるのもやむを得ない 60.8%

- 多くの市民が将来の世代のために環境の保全・改善の行動を起こすことを必要と認めているものの、現在の生活や社会のレベルが下がることを望んでいない。
- 環境の保全・改善のために生活が多少不便になることを許容できるとの回答は、自らが環境の保全・改善に努めるべきと考える人にはあるが、そう思わない人にはない。
- 生活の不便さや物価の上昇については、許容する人と許容しない人が半々であるが、行政が税を投入して対策を講ずることには、抵抗感が強い。

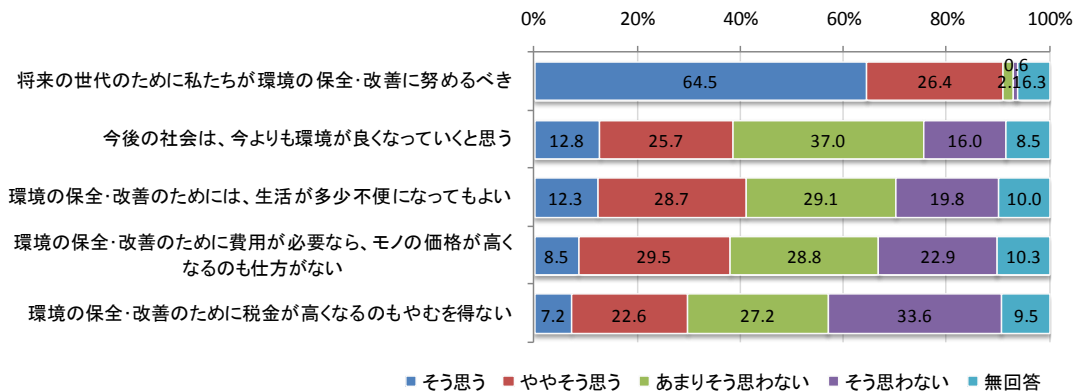


図5 環境保全への意識

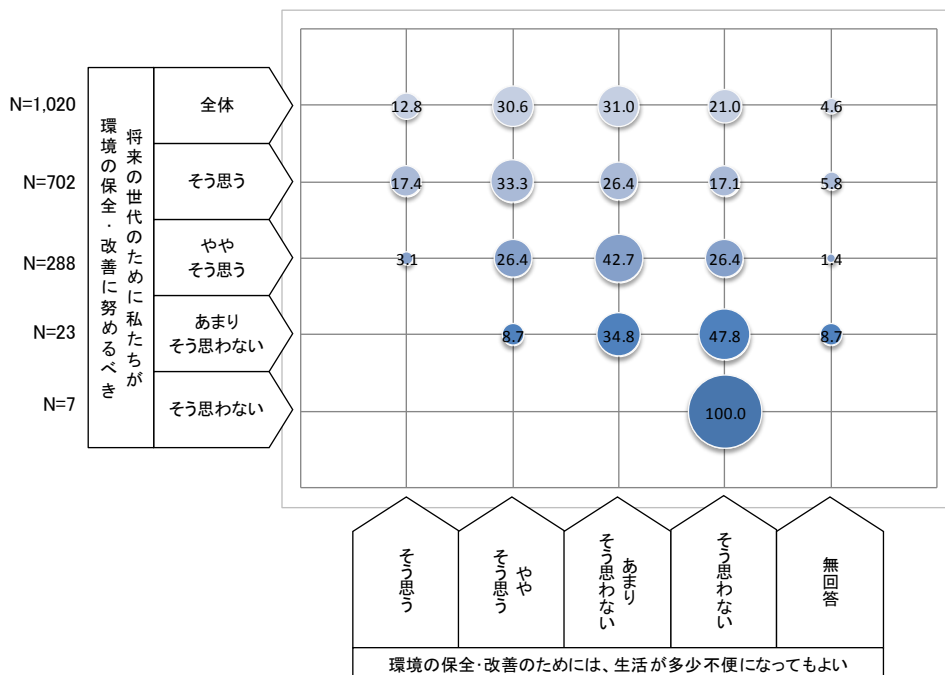


図6 「将来の世代のために私たちが環境の保全・改善に努めるべき」という回答と、「環境の保全・改善のためには、生活が多少不便になってもよい」という回答のクロス集計結果

【市民】

(N=1,089)

あなたは、環境保全につながる取組みを、①現在実行していますか、②継続して又は今後実行していきますか。各項目について①及び②ごとに、それぞれ該当するものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・現在実行しているという回答の割合が高い項目

- | | |
|--------------------|-------|
| ① ごみのポイ捨てなどをしないこと | 92.4% |
| ② 生活騒音などに配慮すること | 91.0% |
| ③ 油などを排水口に直接流さないこと | 90.0% |

・現在実行しているという回答の割合が低い項目

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 環境学習の機会を利用すること | 現在 15.0% ⇒ 将来 42.1% |
| ② 再生可能エネルギーを利用すること | 現在 22.4% ⇒ 将来 51.2% |
| ③ 自然にふれ合うこと | 現在 23.1% ⇒ 将来 47.0% |

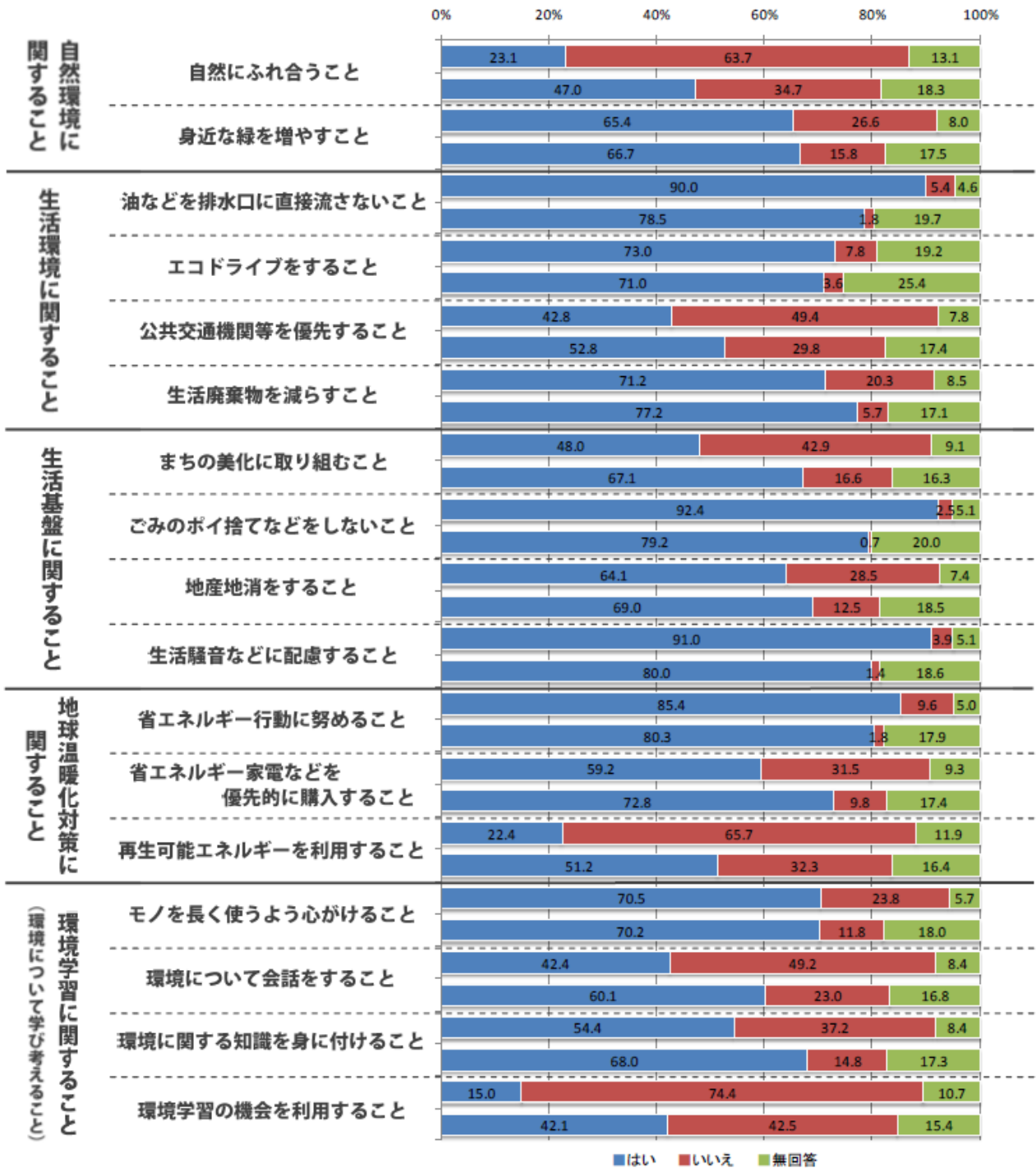
・現在実行していないという回答に対して、継続又は将来実行していきたいという回答の割合が伸びた項目

- | | |
|--------------------|---------|
| ① 再生可能エネルギーを利用すること | 28.8%増加 |
| ② 環境学習の機会を利用すること | 27.1%増加 |
| ③ 自然にふれ合うこと | 23.9%増加 |

○現在実行している環境保全につながる取組みは、日常生活に根付いた身近にできるものが多い。

○現在実行しているという回答割合が低い項目では、いずれの項目も継続又は今後実行していきたいという回答割合は伸びているが、依然として低い割合である。

○「環境学習の機会を利用すること」について、今後実行したい人は高い伸びを示しているが、利用したいと思う人を、利用したいと思わない人が上回っている。



※各項目の上段が①現在実行しているか、下段が②継続又は今後実行していくかの回答

図7 環境保全につながる取組み（市民）

【小中学生】

(中学生 N=222、小学生 N=281)

あなたは、次の取組みを、①今していますか、②大人になったらしようと思いませんか。
①と②の項目ごとに、それぞれあてはまるものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・今しているという回答割合が高い項目

- | | |
|--------------------|-------|
| ① ごみのポイ捨てなどをしないこと | 76.5% |
| ② 油などを排水口に直接流さないこと | 74.2% |
| ③ なるべく電車などで出かけること | 66.2% |

・今しているという回答割合が低い項目

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 自然にふれ合うこと | 現在 19.3% ⇒ 将来 55.3% |
| ② すすんで環境について学ぶこと | 現在 24.3% ⇒ 将来 55.5% |
| ③ 環境について会話をすること | 現在 27.6% ⇒ 将来 58.8% |

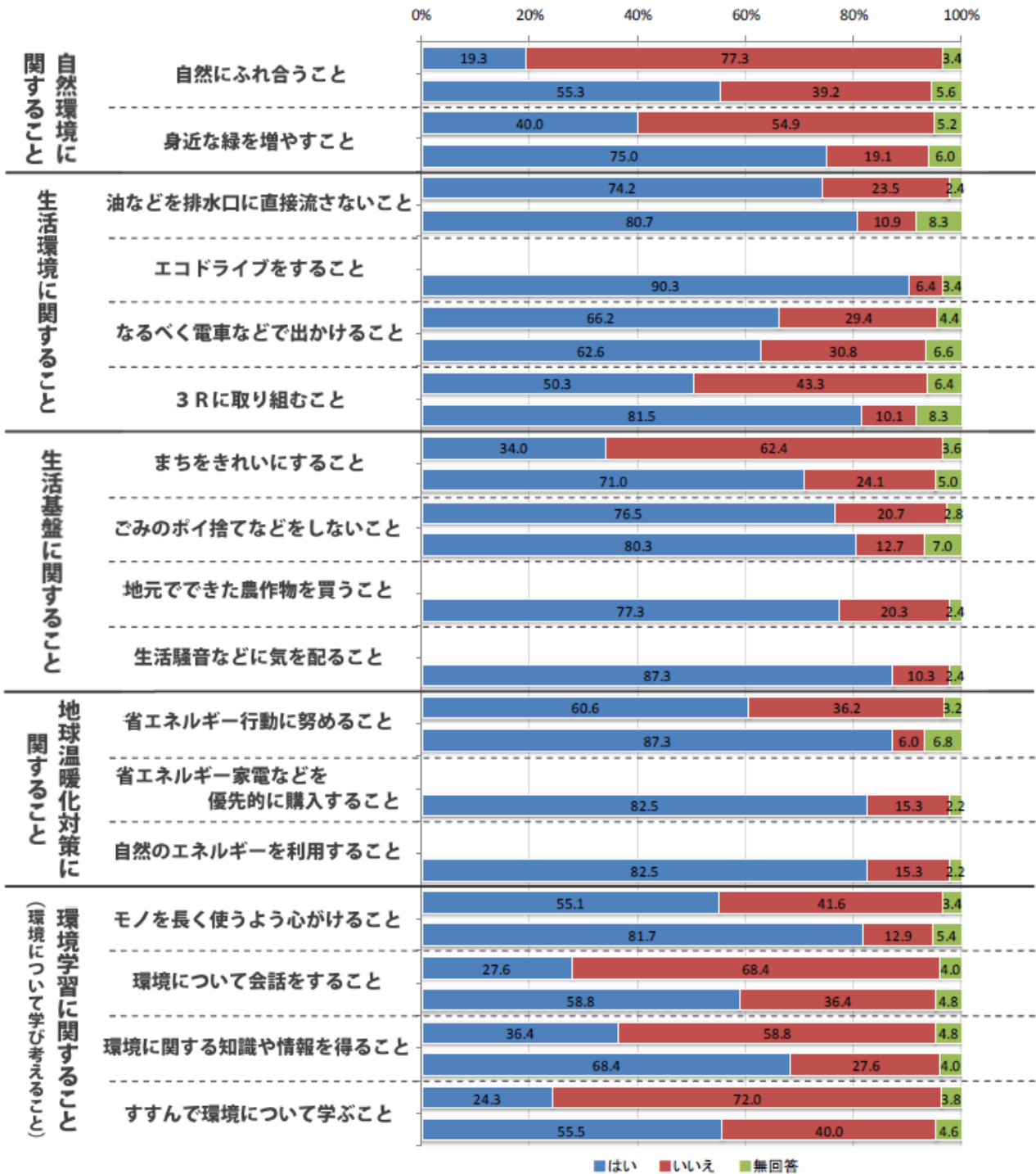
・今に対して、大人になったらしようと思うという回答の割合が伸びた項目

- | | |
|---------------|---------|
| ① まちをきれいにすること | 37.0%増加 |
| ② 自然にふれ合うこと | 36.0%増加 |
| ③ 身近な緑を増やすこと | 35.0%増加 |

○環境について、会話をする、すすんで学ぶ、知識や情報を得るなど環境学習に関することについて、現状ではあまり取り組まれていない。

○エコドライブなど現在していないことについて、将来への関心は高くなっている。

○全般に市民と同じような傾向にある。小中学生は、エコドライブなど現在していないことについて、将来の関心は高くなっていたが、大人になると、いずれの項目でも関心が低くなっている。



※中学生と小学生の回答の合計値

※各項目の上段が①今しているか、下段が②大人になったらしようと思うかの回答

図8 環境保全につながる取組み (小中学生)

【市民】

(N=1,089)

あなたは、環境保全につながる取組みに、より積極的に取り組んでいくため、どのようなことが必要だと考えますか。あてはまるものを3つまで選んで、番号に○を付けてください。

・環境保全により積極的に取り組むために必要なもの

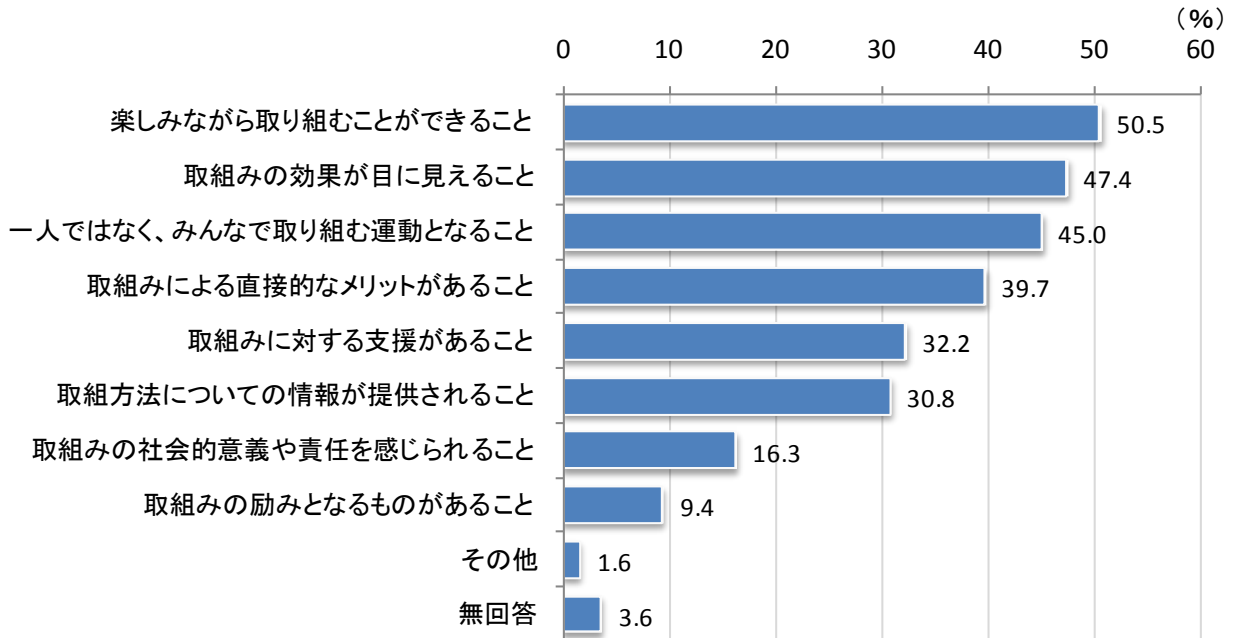


図9 環境保全につながる取組みにより積極的に取り組むために必要なこと

- 取組みの社会的意義や責任の実感、励みがあることは、積極的な取組みに必須と考えられていない。
- 環境問題への関心度別にみると、関心がある層では、「取組みの効果が目に見えること」、「楽しみながら取り組むことができること」、「1人ではなくみんなで取り組むこと」が必要とされているが、関心がない層では、「直接的なメリット」、「取組みに対する支援」が重視される傾向にある。
- 年齢別にみると、若い年齢層ほど「直接的なメリット」や「取組みに対する支援」を求める割合が高くなっている。また、年齢層が上がるにつれて、「1人ではなくみんなで取り組むこと」を求める割合が高くなっている。

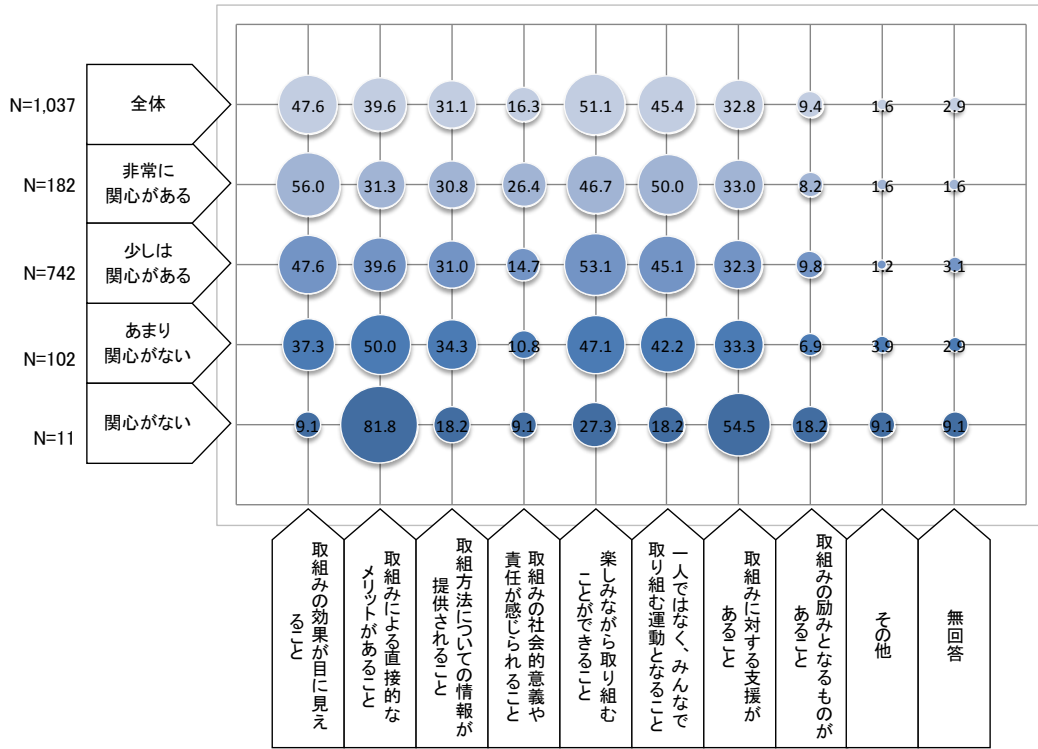


図 10 「より積極的に環境保全につながる取組みを行うために必要なこと」と「環境問題への関心度」のクロス集計結果

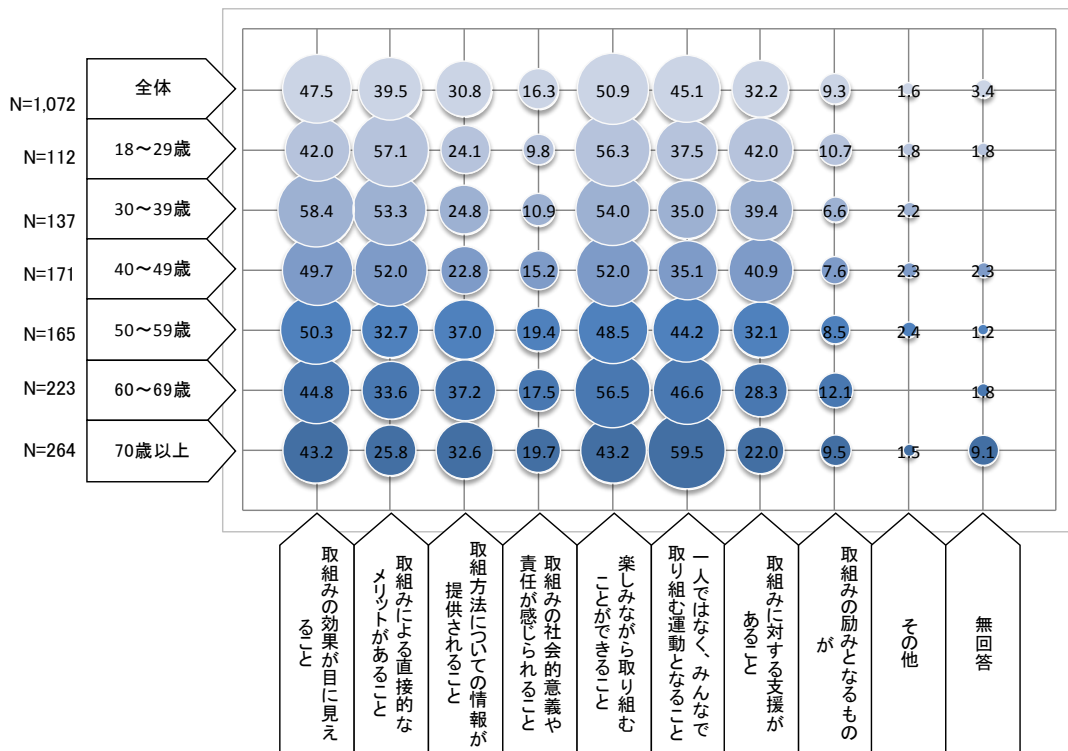


図 11 「より積極的に環境保全につながる取組みを行うために必要なこと」と「回答者の年齢」のクロス集計結果

【市民】

(N=1,089)

あなたは、環境保護団体（NPO・NGO）や市民団体などによる組織的な市民活動として、環境保全に関する活動に取り組んだことがありますか。また、今後取り組んでいきたいと思いませんか。あてはまる項目すべての番号に○を付けてください。

・環境保全に関する市民活動の取組状況



・環境保全に関する市民活動の今後の取組意向



- 取り組んだことのある人の活動分野では、「リサイクル・廃棄物」が圧倒的に多い。
- 今後については、「リサイクル・廃棄物」をはじめ、「自然保護」「消費・生活」「森林の保全・地域の緑化」「地球温暖化対策」など、関心のある分野が多岐にわたる。
- 自然保護の分野については、今後の取組意向が大幅に伸びており、組織的な活動としての意向が強く出ている。また、森林保全・地域緑化、水環境や大気環境の保全、地球温暖化対策についても取組みの意向が伸びている。

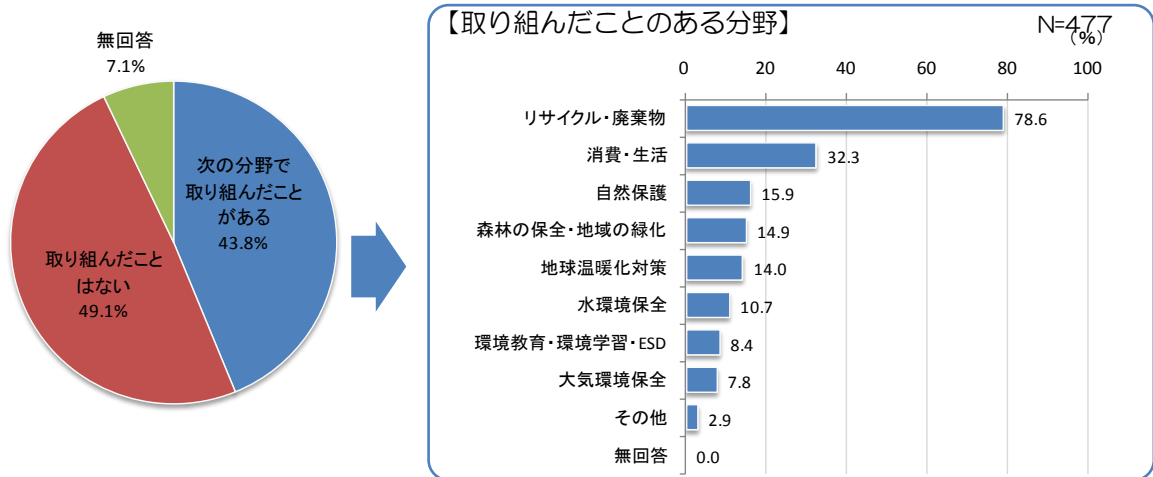


図 12 環境保全に関する市民活動の取組状況及び取り組んだことのある分野

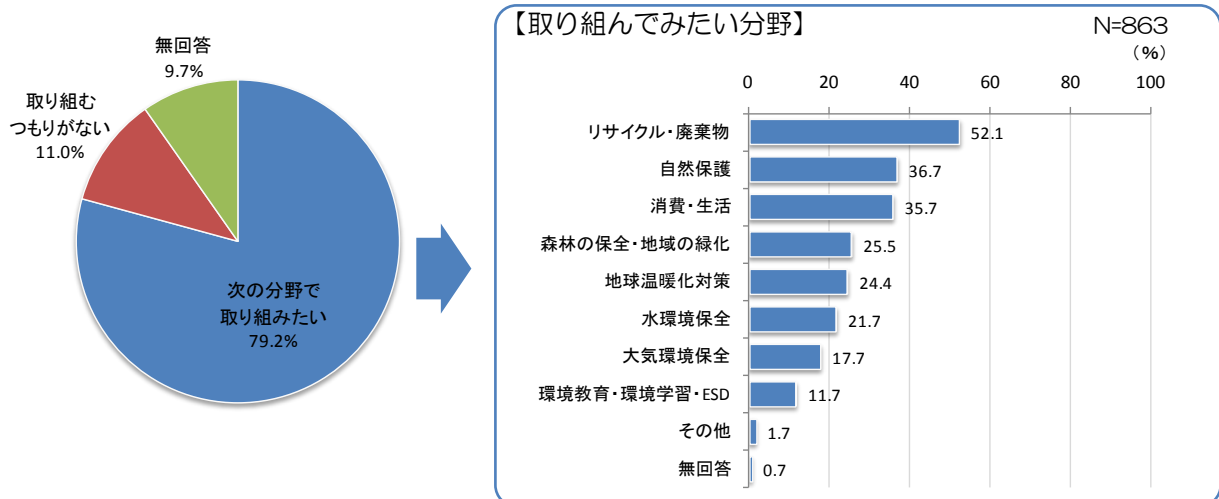


図 13 環境保全に関する市民活動の取組意向及び関心のある分野

【市民】

(N=1,089)

今後の意向として、環境保護団体（NPO・NGO）や市民団体などによる組織的な市民活動として、環境保全に関する活動に「取り組むつもりがない」と回答された方は、その理由をお書きください。

■主な回答（括弧内は回答件数）

- 忙しいなど、時間的な余裕がないため（35）。
- 高齢や健康上の理由のため（17）。
- 組織や団体の取り組みではなく、個人で行うものと捉えているため（16）。
- よく分からないため（13）。
- 団体に対してあまり信用できないため（7）。
- 興味がないため（5）。
- 次世代に任せたいため（2）。

など

行政による環境保全の取組みについて

【市民】

(N=1,089)

あなたは、これからの津島市の環境のために、行政として、どのような分野について重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。次の各項目について、あなたの考え方に近いものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・行政が重点的に取り組むべき分野として高い項目

- ① 水環境の保全 83.9%
- ② リサイクル・廃棄物 80.0%
- ③ その他の公害の対策 74.7%

- 生活環境に関することについて、重点的に取り組んでいくべきという意見が多いが、これまで行政が重点的に取り組んできた分野でもある。
- 環境学習に関することについて、わからないとの回答がいずれも3割前後を占めている。
- 自然環境の保全については、74.2%が重点的に取り組むべきと考えているが、地球温暖化対策や生物多様性の保全といった新しい課題に対しては、あまり高くなっていない。

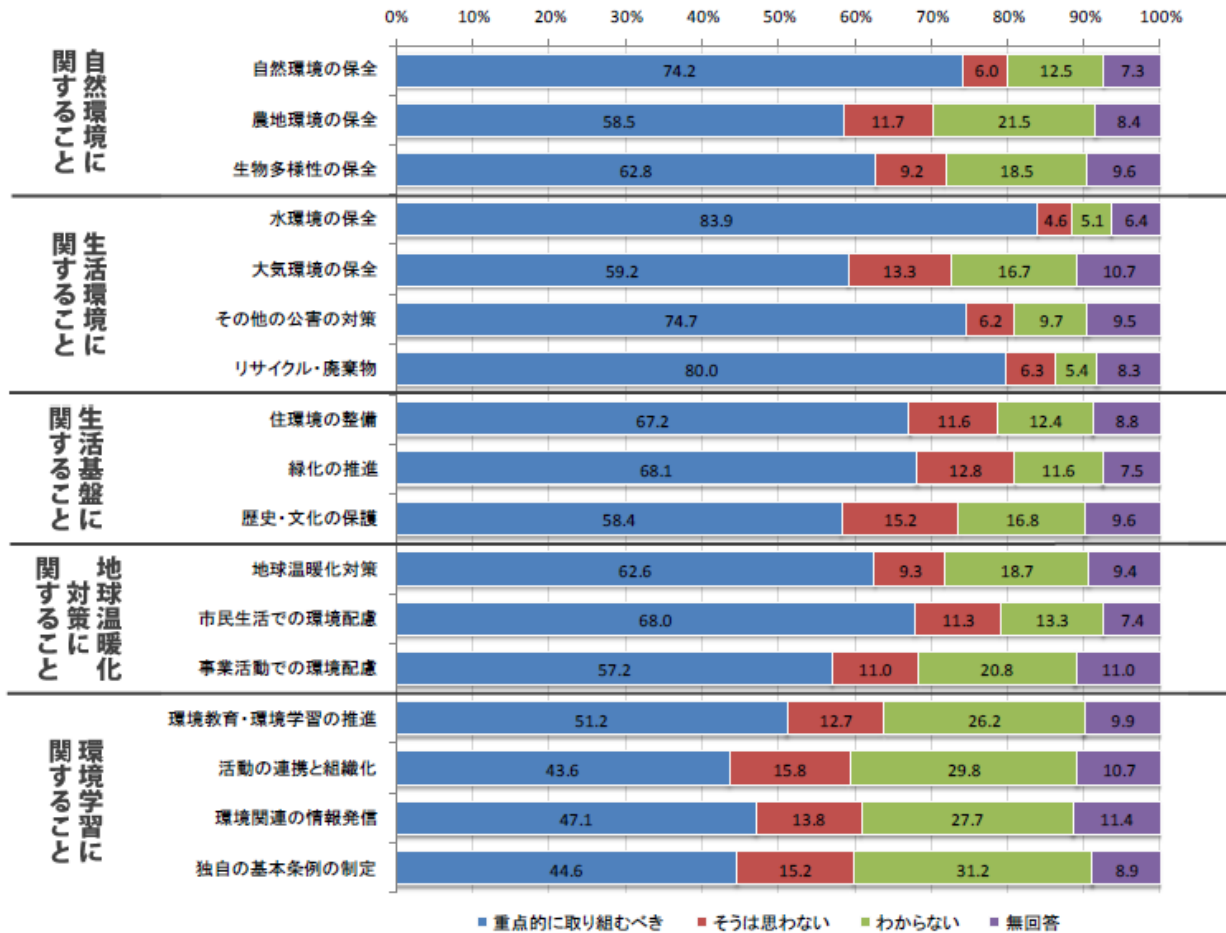


図 14 行政が重点的に取り組むべき分野

将来の津島市の環境について

【市民】

(N=1,089)

あなたが考える 20 年後の津島市において、こうあって欲しいと望む環境の姿として、あてはまるものを 3 つまで選んで、番号に○を付けてください。

・ 20 年後の津島市の望ましい環境の姿についての高い項目

- ① 防災・減災の取組みが進んで災害に強い 43.3%
- ② 川や池の水がきれい 33.2%
- ③ 空気がきれい 29.2%

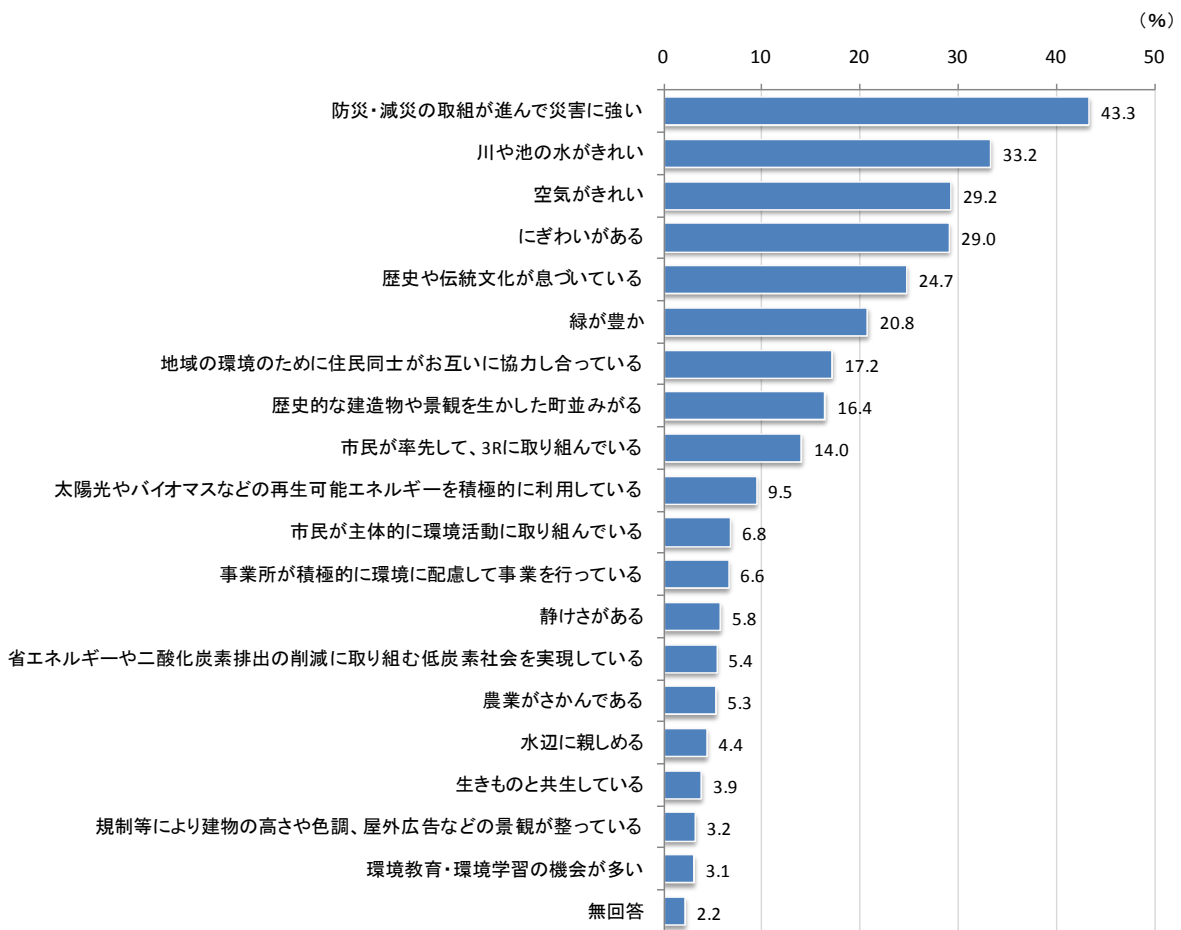


図 15 20 年後の津島市の望ましい環境の姿（市民）

○上位の項目は、概ね小中学生や事業者と同様の結果になっている。ただし、「防災・減災の取組みが進んで災害に強い」については、一般市民において飛びぬけて高い割合を示した。

○全年齢層を通じて、災害に強いまちという将来像を描いている。

○水環境・大気環境が良好で、まちににぎわいがあることを望んでいる。

○地域別では、東小校区で「にぎわい」、北小学校区で「歴史・文化」、蛭間小学校区で「水環境」について、高い割合を示していた。

表1 「20年後の望ましい環境の姿」と「回答者の年齢」のクロス集計結果（各年齢層で上位3項目）

年齢	1	2	3
全体	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (43.5%)	川や池の水がきれい(33.3%)	空気がきれい (29.2%)
18～29歳	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (42.9%)	にぎわいがある (40.2%)	川や池の水がきれい(38.4%)
30～39歳	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (38.7%) 川や池の水がきれい (38.7%)		空気がきれい (38.0%)
40～49歳	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (45.0%)	歴史や伝統文化が息づいている (31.0%)	空気がきれい (29.2%) にぎわいがある (29.2%)
50～59歳	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (50.9%)	川や池の水がきれい(33.3%)	歴史や伝統文化が息づいている (27.9%)
60～69歳	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (50.2%)	にぎわいがある (35.4%)	川や池の水がきれい(35.0%)
70歳以上	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (34.8%)	川や池の水がきれい(30.3%)	空気がきれい (29.9%)

表2 「20年後の望ましい環境の姿」と「回答者の居住地区」のクロス集計結果（各年齢層で上位3項目）

小学校区	1	2	3
全体	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (43.7%)	川や池の水がきれい(33.3%)	にぎわいがある (29.3%)
東小	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (39.4%) にぎわいがある (39.4%)		川や池の水がきれい(30.3%)
西小	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (42.6%)	川や池の水がきれい(33.0%)	歴史や伝統文化が息づいている (32.4%)
南小	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (44.0%)	空気がきれい (30.8%)	歴史や伝統文化が息づいている (30.2%)
北小	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (39.8%) 歴史や伝統文化が息づいている (39.8%)		にぎわいがある (27.7%)
神守小	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (45.1%)	川や池の水がきれい(40.1%)	空気がきれい (35.8%)
蛭間小	川や池の水がきれい(42.9%)	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (40.8%)	にぎわいがある (35.7%)
高台寺小	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (59.2%)	川や池の水がきれい(33.8%)	空気がきれい (31.0%)
神島田小	防災・減災の取組みが進んで災害に強い (46.9%)	川や池の水がきれい(31.9%)	空気がきれい (28.3%)

【小中学生】

(中学生N=222、小学生N=281)

あなたが期待する「20年後の津島市の環境」のイメージに近いものを3つまで選んで、番号に○を付けてください。

・20年後の津島市の環境の姿についての高い項目

- ① 空気がきれい 34.0%
- ② 川や池の水がきれい 31.2%
- ③ 防災・減災の取組みが進んで災害に強い 27.8%

○上位の項目は、市民や事業者と同様の結果になっている。

○市民と比較すると、「緑が豊か」という将来イメージの回答割合が高い。

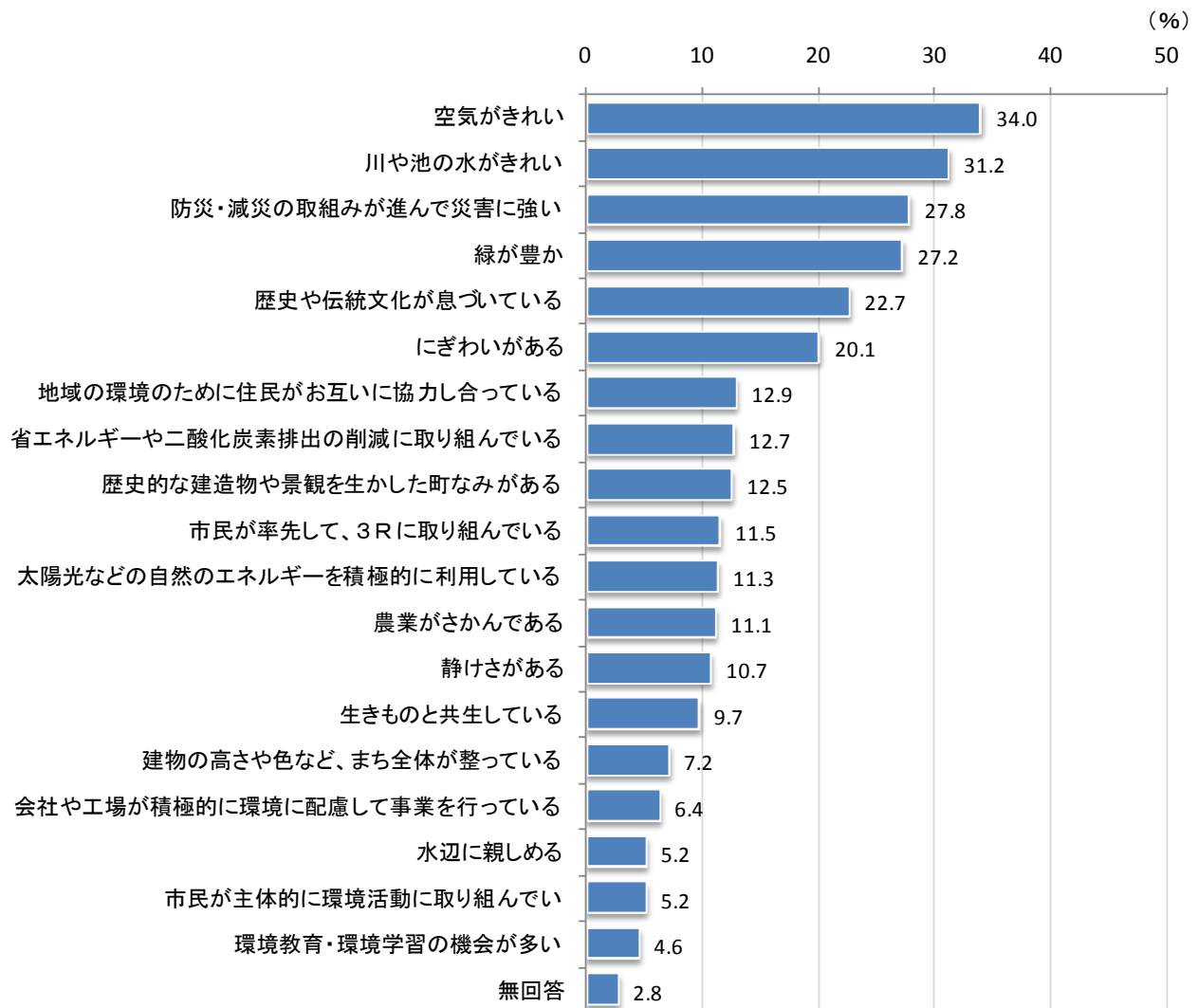


図 16 20年後の津島市の望ましい環境の姿（小中学生）

【市民】

(N=1,089)

20年後の津島市の環境の姿の実現に向けて、あなたが日頃行っていることや今後行っていきたいことについて、自由に書いて下さい。

■主な回答（括弧内は回答件数）

- ごみを捨てない、ごみ拾い、分別、リサイクル、3Rの推進（138）
- 歴史文化の維持活用、町並み景観の保全、祭りへの参加（65）
- 緑化の推進、自然を守る（58）
- 災害への備え、防災・減災の取組（43）
- まちを活性化させる、まちの雰囲気をよくする（27）
- 生活排水の改善、水質を良くし、川や池、水路を汚さないこと（23）
- 再生可能エネルギーの活用（23）
- 公共交通機関の利用、エコカーへの切り替え、エコドライブ、車の運転を控える（21）
- 助け合うこと、一緒に活動すること（13）
- 農業の実践（10）
- 大気汚染、騒音、悪臭などの公害苦情（9）
- 省エネルギーの実行など（8）
- 公共施設、公園などの充実（7）
- 環境学習、環境教育（4）

など

【小中学生】

(中学生 N=222、小学生 N=281)

「20年後の津島市の環境」のために、「今していること」や「大人になったらしようと思うこと」を自由に書いてください。

■主な回答（中学生）（括弧内は回答件数）

- ごみを捨てない、ごみ拾い、分別、リサイクル、3Rの推進（95）
- 歴史文化の保全・継承、祭りへの参加（27）
- 緑化の推進、自然を豊かにする（27）
- 防災対策、安全対策（25）
- 省エネルギー対策、エコカーの使用、CO₂の削減（24）
- 騒音、大気汚染などを発生させないこと（11）
- 自然エネルギーの活用（10）
- まちの活性化（9）
- あいさつをする、コミュニケーションをとる（7）
- 一次産業の仕事をする（2）
- 環境学習（1）

など

■主な回答（小学生）

- 掃除、ごみを捨てない、ごみを減らす、3Rの推進（51）
- 農業の実践、緑化の推進（33）
- 川や水をきれいにする（17）
- 歴史文化の保全（9）
- まちの雰囲気をよくする（9）
- 防災対策を進める（8）
- 生き物を大切に（7）
- 空気を汚さない（4）
- ハイブリッドカーや空気を汚さない取組みをする（1）
- 太陽光パネルをつける（1）
- 車を使わずに自転車や公共交通機関を使う（1）
- 植物を植えて緑を増やす（1）

など

【市民】

(N=1,089)

あなたが考える 50 年後の津島市において、こうなっているのではないかと思う環境の姿について、自由に書いてください。

■主な回答（括弧内は回答件数）

- 少子高齢化が進んでいる（49）
- 良好な自然環境、緑が豊か（40）
- 農地が減少し、宅地化が進行している（36）
- 歴史文化があり、祭りが継承されている（33）
- 防災のまち、災害が懸念されるまち（30）
- 道路や歩道等が整備されたまち（19）
- 特に変化なし（19）
- 住みやすいまち（12）
- 再生可能エネルギーの活用、エコカーなどの使用が進んでいる（11）
- ゴミのないまち、リサイクル、3Rの進むまち（10）
- 財政事情の問題、税金の負担が大きい（10）
- 公園緑地や施設が整備されている（7）
- 下水道等が整備されている（7）
- 企業が誘致されている（4）
- 地下鉄ができている（4）
- あまり良くない環境（3）
- 緑が豊かで公園が増え、子どもや市民が憩える環境が増えている（3）
- 安心できるまち（2）
- 歴史文化と自然豊かな町であること（1）
- 地産地消が根付いたまち（1）
- 自然とのバランスがとれている（1）

など

【小中学生】

(中学生 N=222、小学生 N=281)

あなたが予想する 50 年後の津島市の環境は、今と比べてどうなっているか、あなたがどのような生活をしているかについて、自由に書いてください。

■主な回答（中学生）（括弧内は回答件数）

- 緑が増えている、自然が豊かになっている (31)
- 環境が悪化している (19)
- 良い環境になっている (19)
- ごみが少なくなっている、リサイクル、3R を進めている (17)
- 状況は変わらない (16)
- 人口が減少している (15)
- 空気がきれいになっている (14)
- 建築物が増えている (13)
- 緑が減り、自然がなくなっている (12)
- ごみが増えている (10)
- 省エネルギーを進めている、再生可能エネルギーの活用など (9)
- 川や水がきれいになっている (9)
- 空気がきたなくなっている (8)
- 便利になっている (8)
- 道路などの交通環境が整備されている (6)
- よい生活、豊かな生活をしている (6)
- 活気のあるまち (5)

など

■主な回答（小学生）

- 緑化されたり、自然環境が良くなっている (62)
- 良い環境になっている (30)
- 自然が悪くなっている、悪い環境になっている (17)
- エコな生活、CO2 排出が減っている (8)
- 変わらない (8)
- 建築物が増えている (7)
- 便利になっている (6)
- 道路が整備されている (3)
- 安全なまち (3)
- 平和になっている (3)
- 災害に強くなっている (2)
- 祭り (2)
- 災害に弱い (1)

など

津島市の環境についての提案

【市民】 (N=1,089)
津島市の環境について、ご提案がありましたら、自由に書いてください。

■主な回答（括弧内は回答件数）

- 道路や歩道の整備、交通環境の改善 (47)
- 公園、緑地の整備 (42)
- 水環境や水質の改善 (34)
- ごみの分別、リサイクル、美化、3Rを進める (33)
- 災害対策、防災・減災の取組 (15)
- まちの活性化、良い雰囲気づくり (10)
- 農地、農業の維持活用 (8)
- 企業の誘致 (6)
- 再生可能エネルギーの活用、省エネルギーなど (4)
- 環境情報の活用、普及 (3)

など

【小中学生】 (中学生 N=222、小学生 N=281)
環境を守るために、今、大人にして欲しいと思うことを書いてください。

■主な回答（中学生）（括弧内は回答件数）

- ごみのポイ捨てをやめる、掃除、分別、リサイクル、3Rの推進 (138)
- 自然を大切にする、自然を豊かにする (19)
- 空気をきれいにする (9)
- CO2の排出を減らす (6)
- 防災対策 (5)
- 資源を大切にする (5)
- 犬のフンを片づける (4)
- 再生可能エネルギーの活用 (3)

など

■主な回答（小学生）

- ごみのポイ捨てをやめる (37)
- タバコのぽい捨てをやめる (18)
- 自然や緑を守る、増やす (21)
- ゴミ拾い・掃除 (20)
- ゴミの分別 (9)
- 省エネルギーの実践、温暖化対策 (8)
- 動物のフンの始末をきちんとする (8)
- ゴミの減量、リサイクル (5)
- 水質改善 (4)

など

3 事業者の調査結果

環境保全の取組みについて

【事業者】 (N=133)
 貴事業所の事業活動において、環境問題をどの程度重要と考えていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・事業者の82.7%が事業活動において環境問題を重要であると考えている。

○従業員数が51人以上の事業所では、事業所全てが重要であると回答しているのに対し、50人以下の事業所では重要でないという回答もあり、事業所の規模によって環境問題への重要度意識が異なることがわかる。

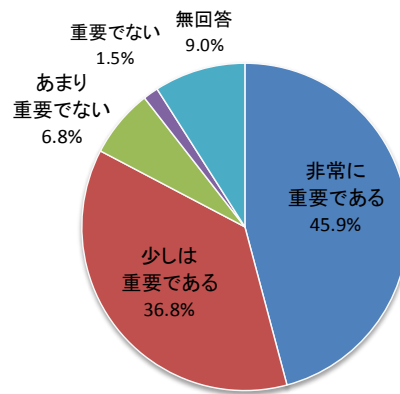


図17 事業活動における環境問題の重要度

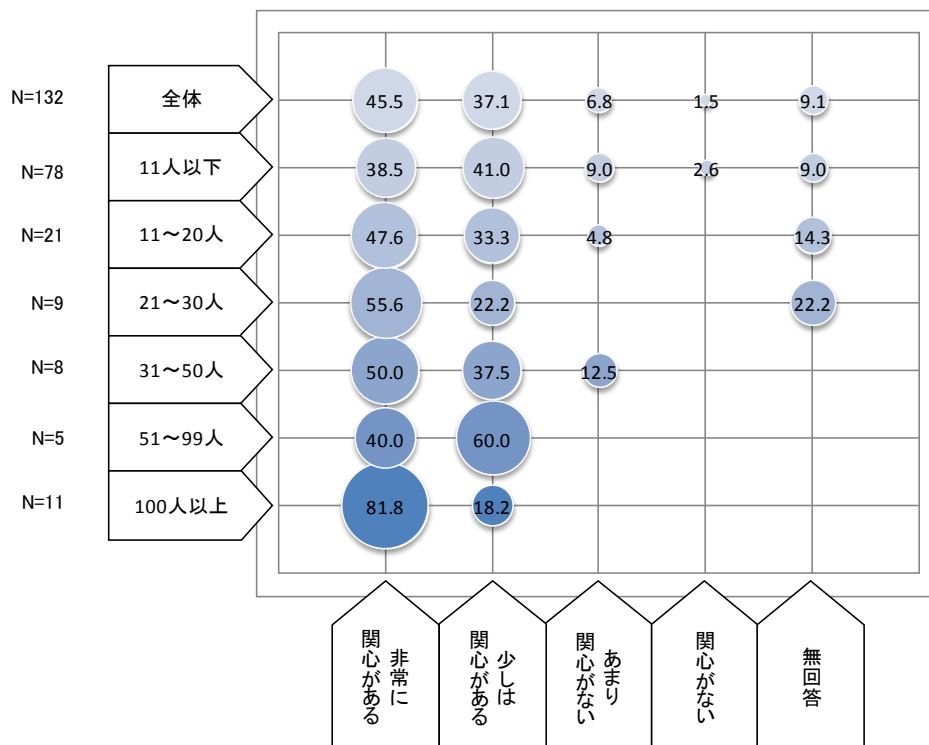


図18 「環境問題に対する重要度意識」と「事業者の従業員数」のクロス集計結果

【事業者】

(N=133)

環境保全への意識に関する次の各項目について、貴事業所の考えに近いものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・環境への配慮と消費者の理解に対して

事業者の77.4%が「環境への配慮は、事業者として必要な取組みであるが、そのための費用を商品や製品の価格に上乗せすることは、消費者の理解を得ることが困難である」と回答。

・環境への配慮と自社の事業活動に対して

事業者の73.0%が自社の事業活動に関係ないとは思っていないと回答。

・今後の社会に対して

回答者区分	良くなると思う	そう思わない
事業者	49.6%	48.9%
市民	38.5%	53.0%

○今後の社会について、事業者に比べ、市民の方が悲観的な考えを持つ傾向にある。

○「環境への配慮は、事業者として必要な取組みであるが、そのための費用を商品や製品の価格に上乗せすることは、消費者の理解を得ることが困難である」と考えている事業者においても、環境への配慮のために価格への上乗せもやむを得ないと考えている事業者が多く、安価な商品や製品を提供するために環境への配慮を欠くことをやむを得ないと考える事業者は少ない。

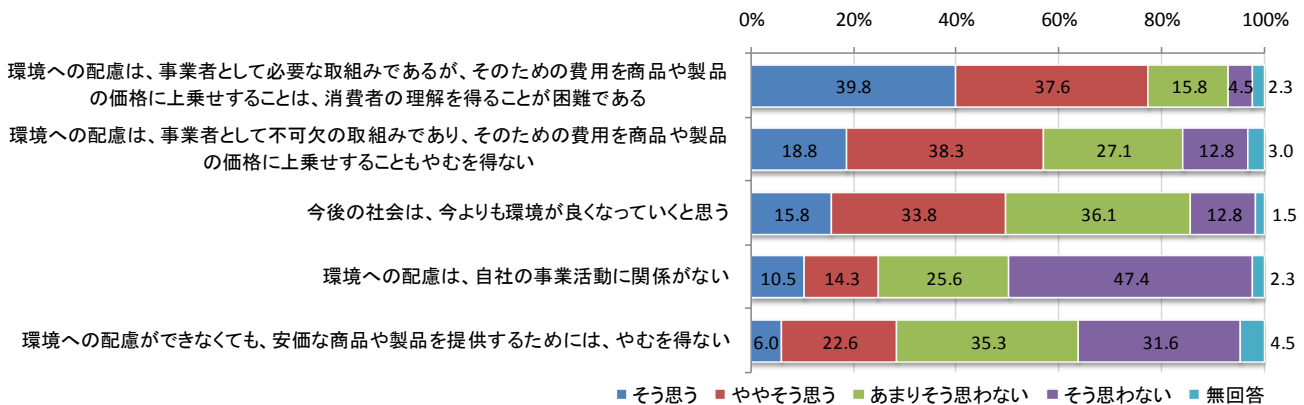


図 19 環境保全への意識

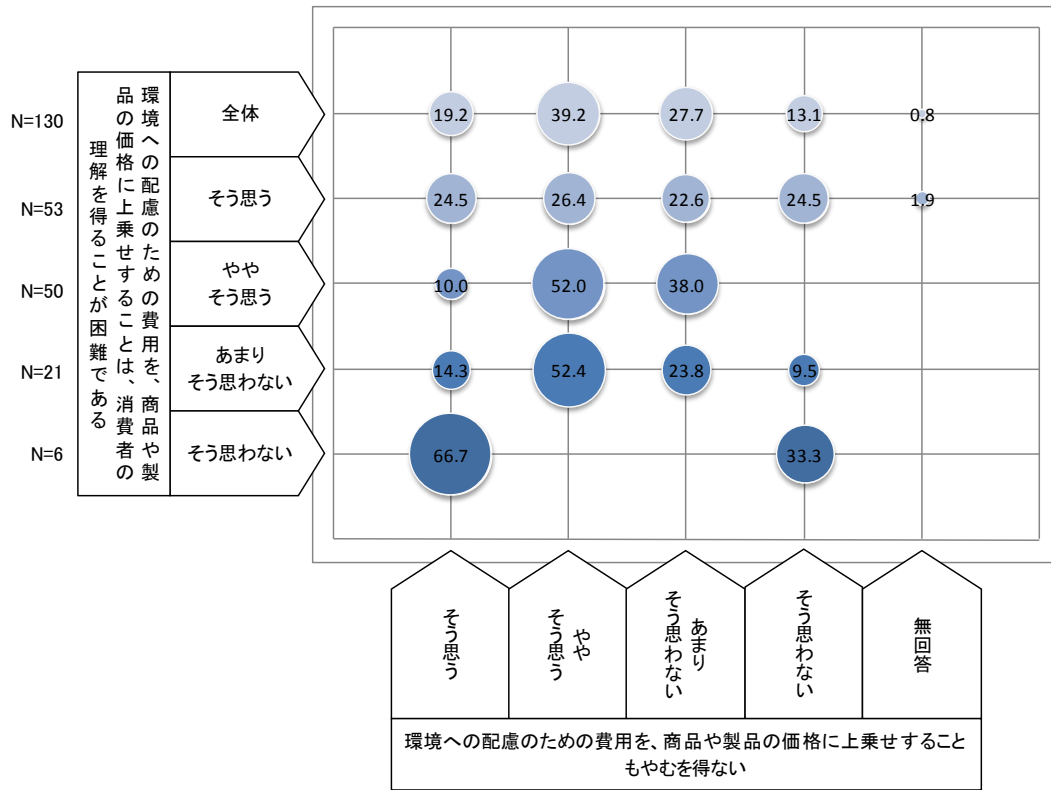


図 20 「環境への配慮は、事業所として必要な取組みであるが、そのための費用を商品や製品の価格に上乗せすることは、消費者の理解を得ることが困難である」という回答と、「環境への配慮は、事業所として不可欠な取組みであり、そのための費用を商品や製品の価格に上乗せすることもやむを得ない」という回答のクロス集計結果

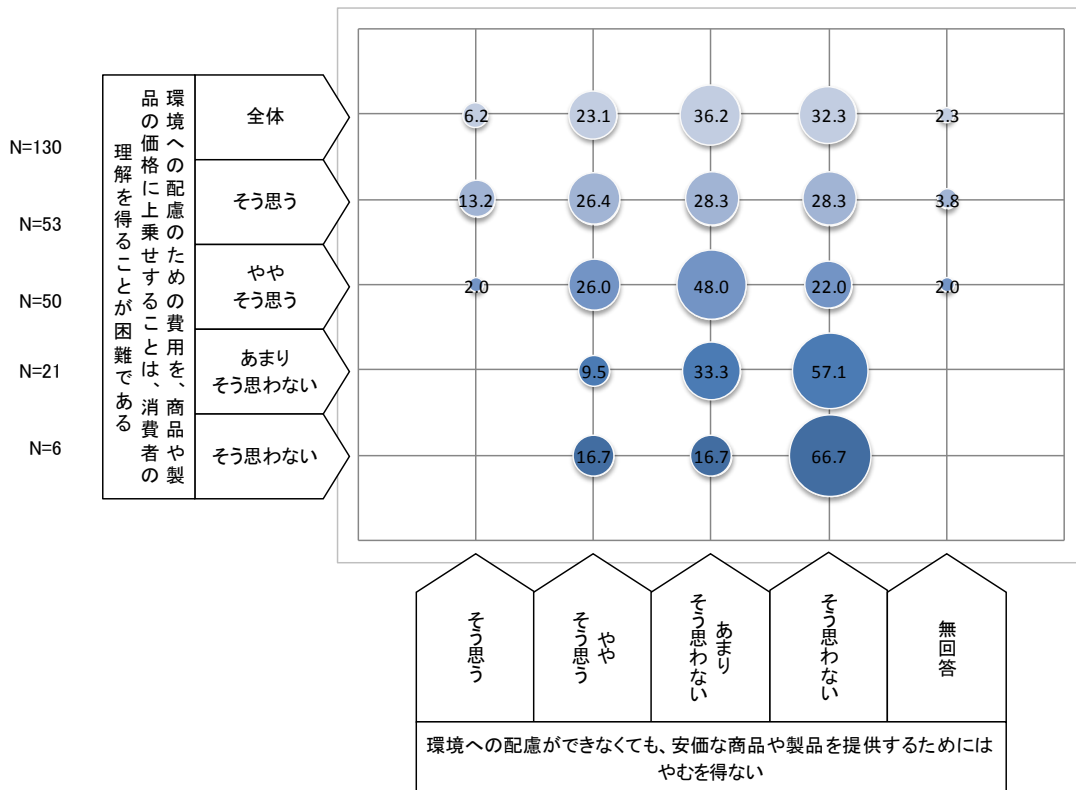


図 21 「環境への配慮は、事業所として必要な取組みであるが、そのための費用を商品や製品の価格に上乗せすることは、消費者の理解を得ることが困難である」という回答と、「環境への配慮ができなくても、安価な商品や製品を提供するためには、やむを得ない」という回答のクロス集計結果

【事業者】

(N=133)

貴事業所では、環境の保全につながる取組みを、①現在実行していますか、②継続して又は今後実行していきますか。各項目について①及び②ごとに、それぞれ該当するものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・現在実行しているという回答割合が高い項目

- | | |
|----------------------|-------|
| ① 事業所から排出する廃棄物を減らすこと | 72.2% |
| ② 冷暖房の設定温度等を管理すること | 67.7% |
| ③ まちの美化に取り組むこと | 66.2% |

・現在実行しているという回答割合が低い項目

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ① 環境報告書の公表等により取組状況を発信すること | 現在 6.0% ⇒ 将来 22.6% |
| ② 再生可能エネルギー等を利用すること | 現在 11.3% ⇒ 将来 35.3% |
| ③ 動植物の保護活動等の実施や支援をすること | 現在 12.0% ⇒ 将来 20.3% |

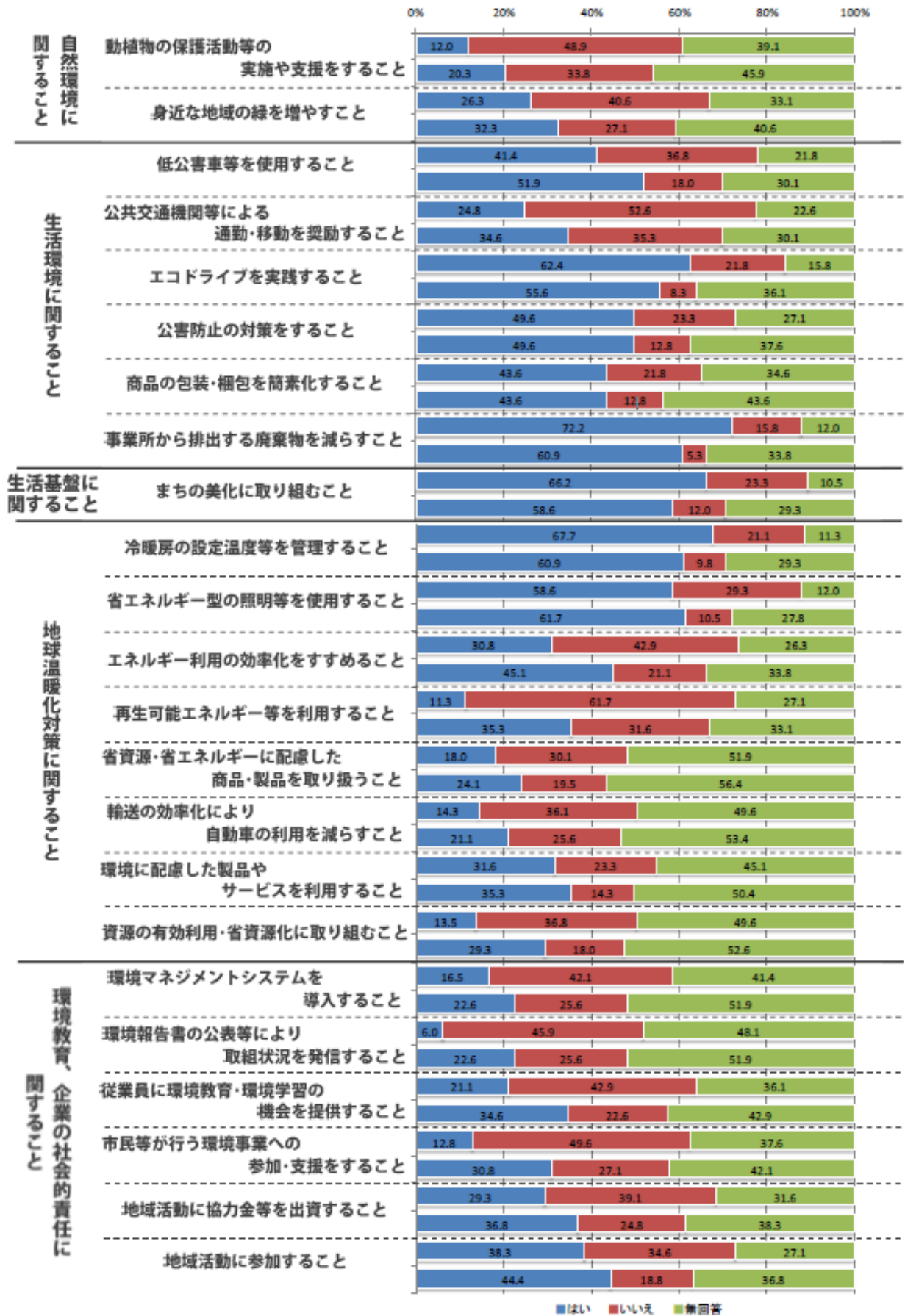
・現在に対して、継続又は将来実行していきたいという回答の割合が伸びた項目

- | | |
|---------------------------|---------|
| ① 再生可能エネルギー等を利用すること | 24.0%増加 |
| ② 市民等が行う環境事業への参加・支援をすること | 18.0%増加 |
| ③ 環境報告書の公表等により取組状況を発信すること | 16.6%増加 |

○地球温暖化対策に関することでは、「冷暖房の設定温度等を管理すること」や「省エネルギー型の照明等を使用すること」といった電力消費量の削減につながる取組みで実行割合が高い。

○現在実行しているという回答割合が低い項目については、いずれの項目も継続又は今後実行していきたいという回答割合が高くなっている（取組意向が高い）。

○現在の取組みの割合が低い項目においては、無回答が多い傾向がある。



※各項目の上段が①現在実行しているか、下段が②継続又は今後実行していくかの回答

図 22 環境保全につながる取組み（事業者）

【事業者】

(N=133)

貴事業所では、環境保全に取り組むことでどのようなメリットがあると考えますか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○を付けてください。

・環境保全に取り組むことで得られるメリット

- ① 経費の節約 65.4%
- ② 企業イメージの向上 55.6%
- ③ 地域住民の信頼の獲得 50.4%

- 「特にメリットはない」という回答は 9%であり、事業者にとって環境保全の取組みは何らかのメリットを生んでいる。
- 事業所の規模別にみると、主だった傾向はみられないものの、従業員数の少ない事業所では、環境保全に取り組むことで自社にメリットはないと考えている事業所もあることがわかる。
- 環境への配慮のための費用を商品や製品の価格に上乗せすることをやむを得ないと考える事業者は、そう思わない事業者に比べて、職場の活性化・従業員の意識の向上にメリットを見ている。

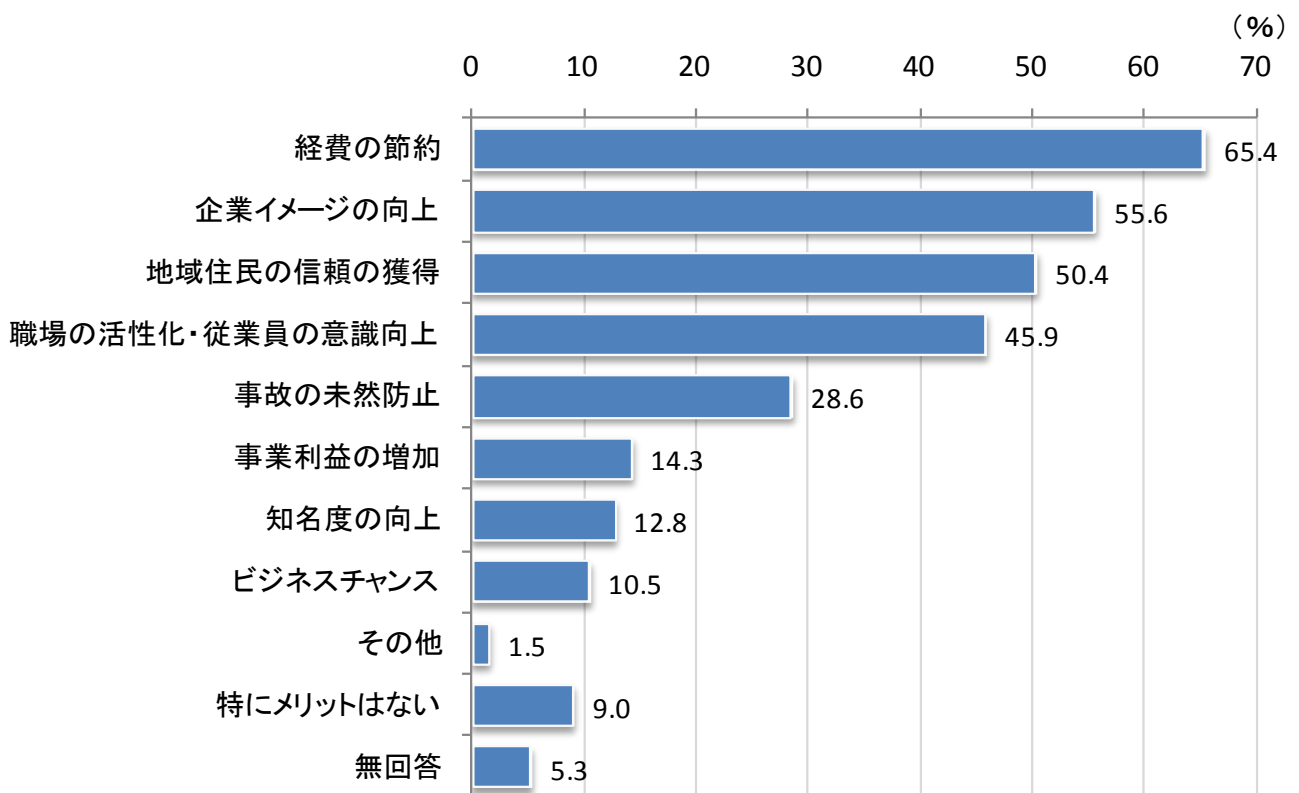


図 23 環境保全に取り組むことで得られるメリット

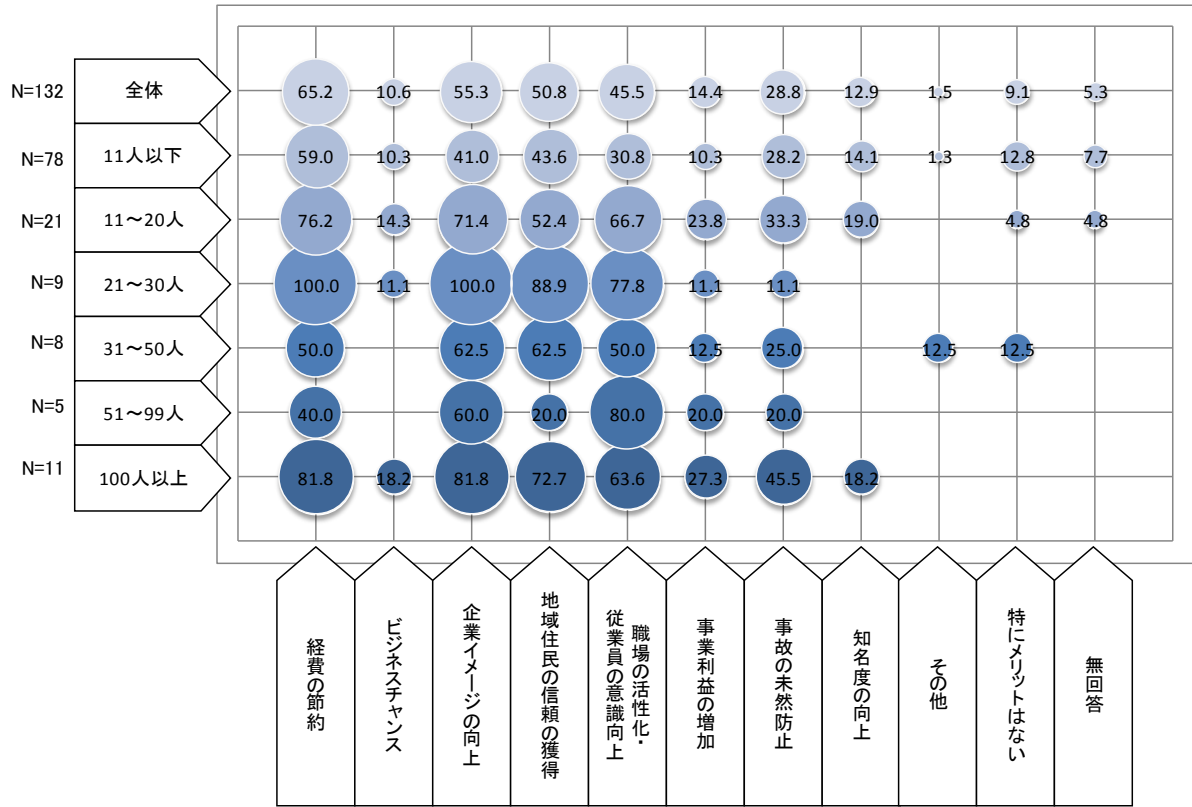


図 24 「環境保全に取り組むことで得られるメリット」と「事業所の従業員数」のクロス集計結果

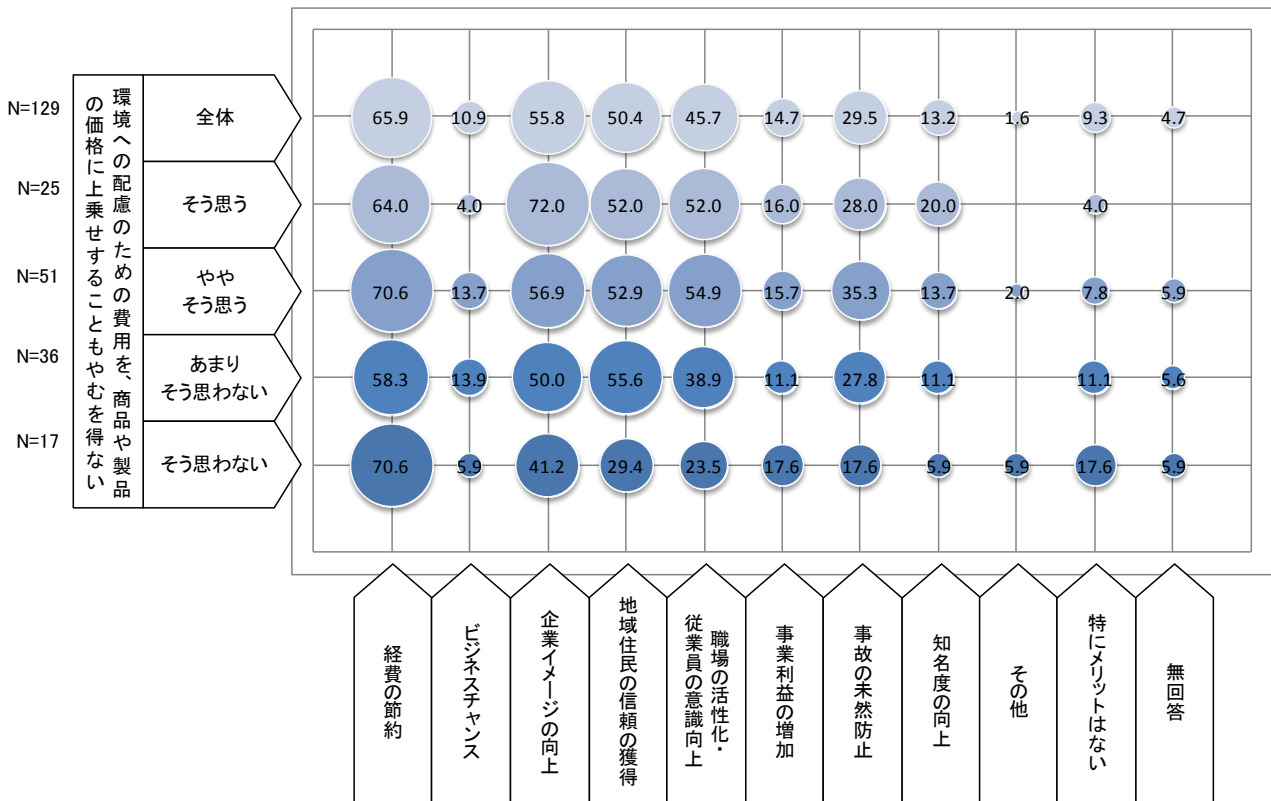


図 25 「環境保全に取り組むことで得られるメリット」と「環境への配慮は、事業所として必要な取組みであり、そのための費用を商品や製品の価格に上乗せすることもやむを得ない」という回答のクロス集計結果

【事業者】

(N=133)

貴事業所では、環境保全に取り組む上で課題だと感じていることがありますか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○を付けてください。

・環境保全活動に取り組む上での課題として高い項目

- ① 取り組むための資金が確保できない 48.1%
- ① 取り組むための人材・人手が確保できない 48.1%
- ③ ノウハウが不足しており、技術的に困難である 38.3%

- 環境保全活動に取り組む上での課題としては、「取り組むための資金が確保できない」、「取り組むための人材・人手が確保できない」という回答割合が高くなっている。
- 「ノウハウが不足しており、技術的に困難である」「情報が不足している」といった課題も挙げられ、ソフト面の支援不足も大きな障害となっている。
- 事業所の規模別にみると、従業員数の少ない事業所では、「取り組むための資金が確保できない」という課題を抱える事業所が多く、ノウハウや情報については、事業所の規模に関係なく、共通の課題であることがわかる。
- 事業所の業種別にみると、卸売・小売業、サービス業では、課題はないという回答の割合が比較的高く出ている。

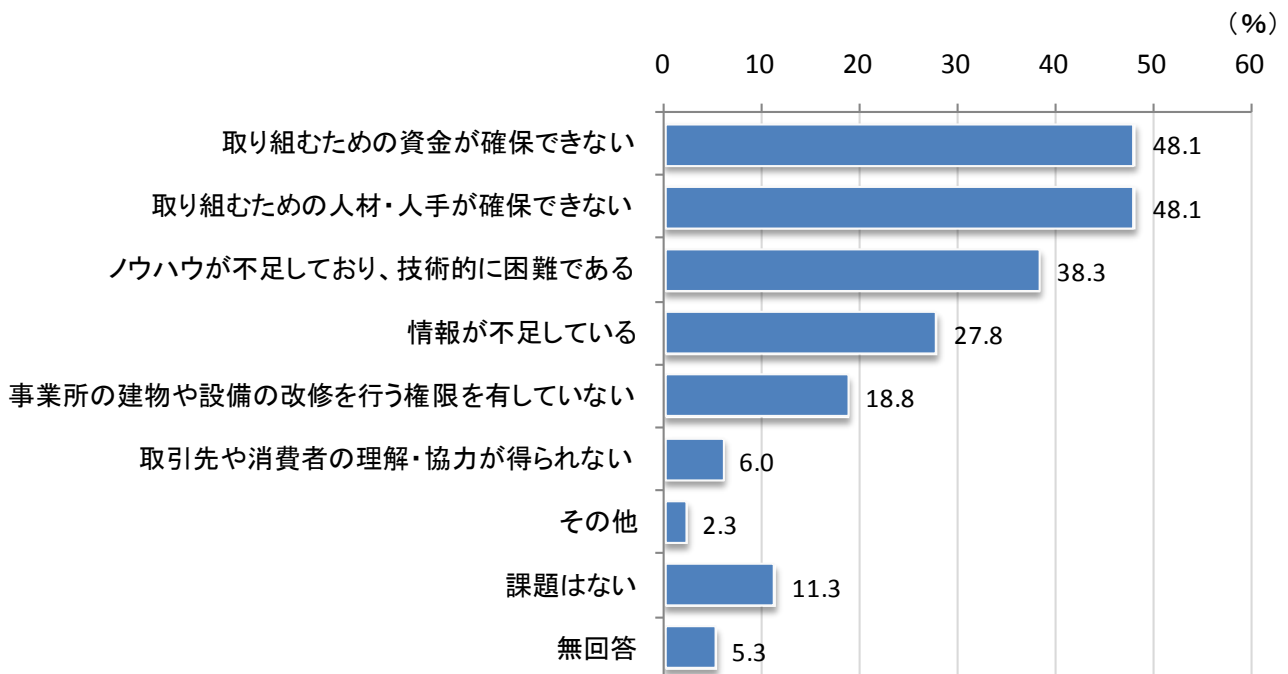


図 26 環境保全活動に取り組む上での課題

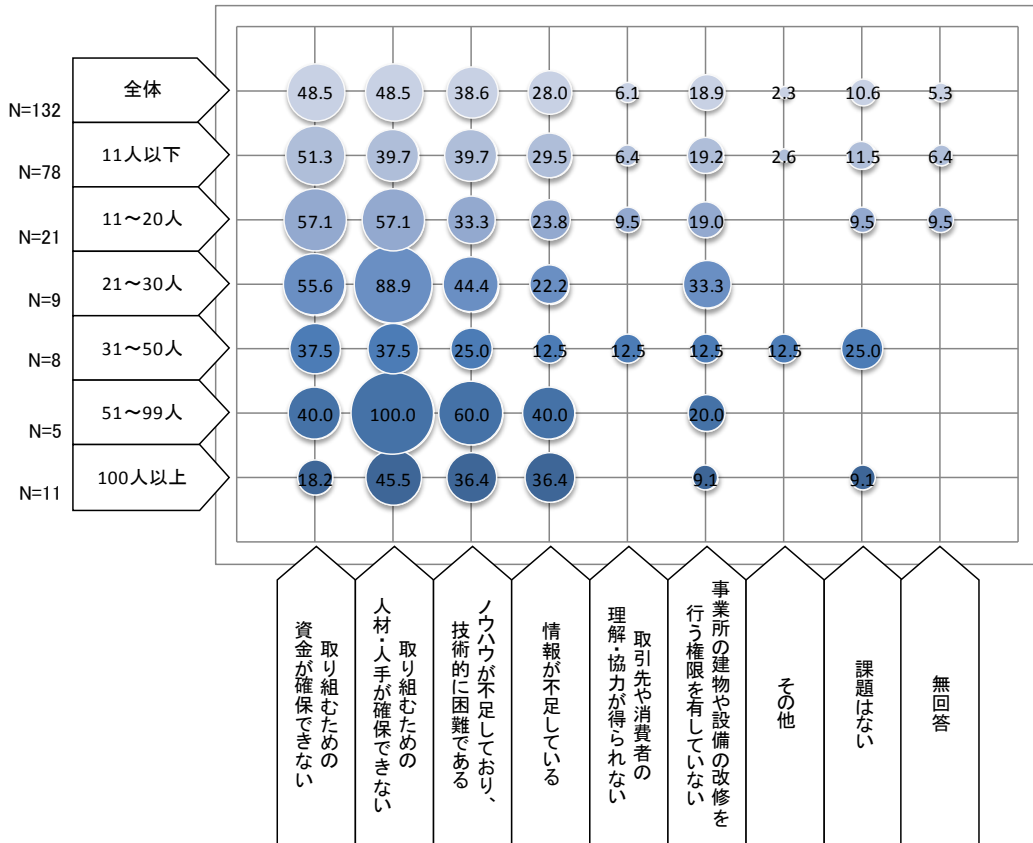


図 27 「環境保全に取り組む上での課題」と「事業所の従業員数」のクロス集計結果

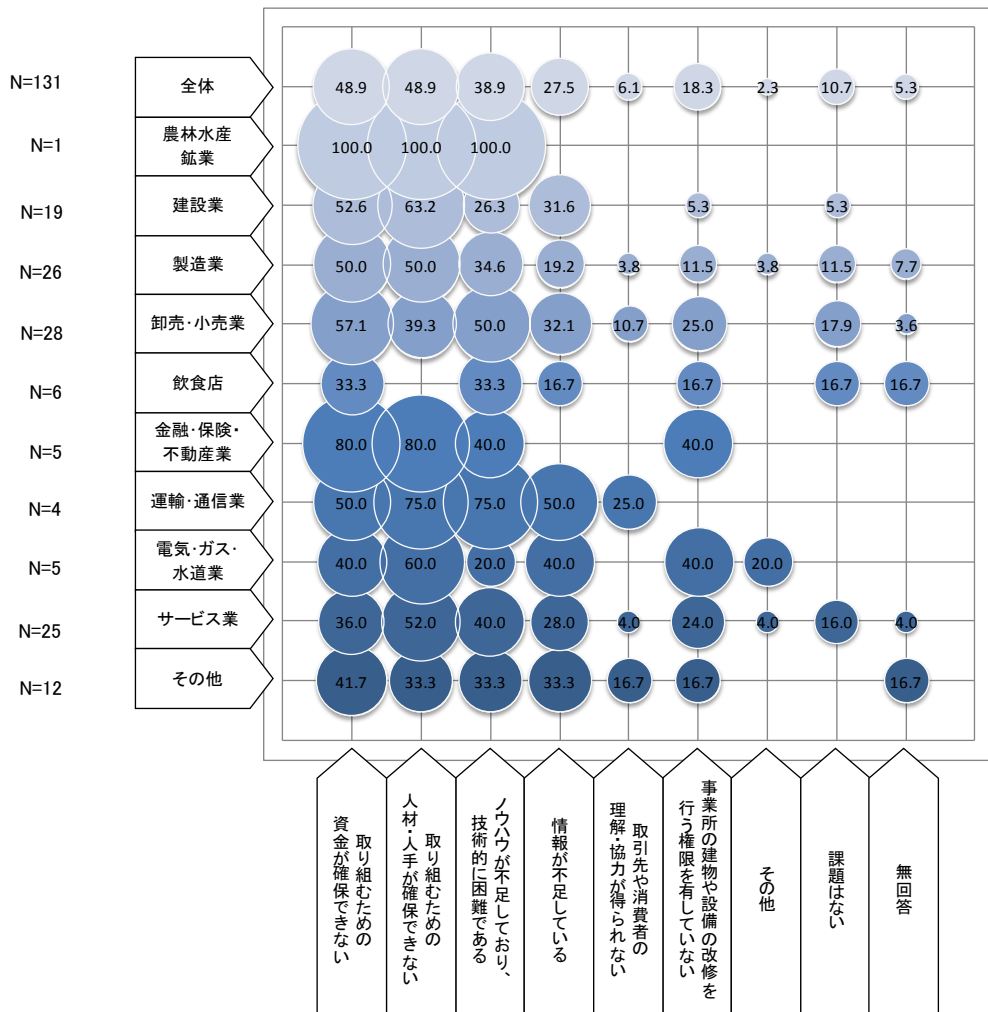


図 28 「環境保全に取り組む上での課題」と「事業所の業種」のクロス集計結果

【事業者】

(N=133)

貴事業所では、今後どのような環境保全に取り組んでいく予定ですか。あてはまるものをすべて選んで、番号に○を付けてください。

- ・ 66.2%が事業所でできる環境保全の取組みであれば、可能な範囲で取り組んでいくと回答した。
- ・ 事業者からみた環境保全の活動に係る協働の相手先（単位 件）



- ・ 事業活動や地域貢献として率先して取り組むと回答した事業者は2割を超えている。
- 必要な限度だけでなく、可能な範囲で積極的に環境保全の取組みを行っていかうとする事業者は、従業員数の規模に関わらず、多く見られる。
- 協働による環境保全の活動を自ら行ったり、その活動の支援を行おうとする事業者も10%程度見られる。
- 従業員数の少ない事業所では、特に取り組む予定はないという回答が比較的多い。また、従業員数の多い事業所ほど、事業活動や地域貢献として率先して環境保全活動に率先して取り組んでいく意向が高いことがわかる。

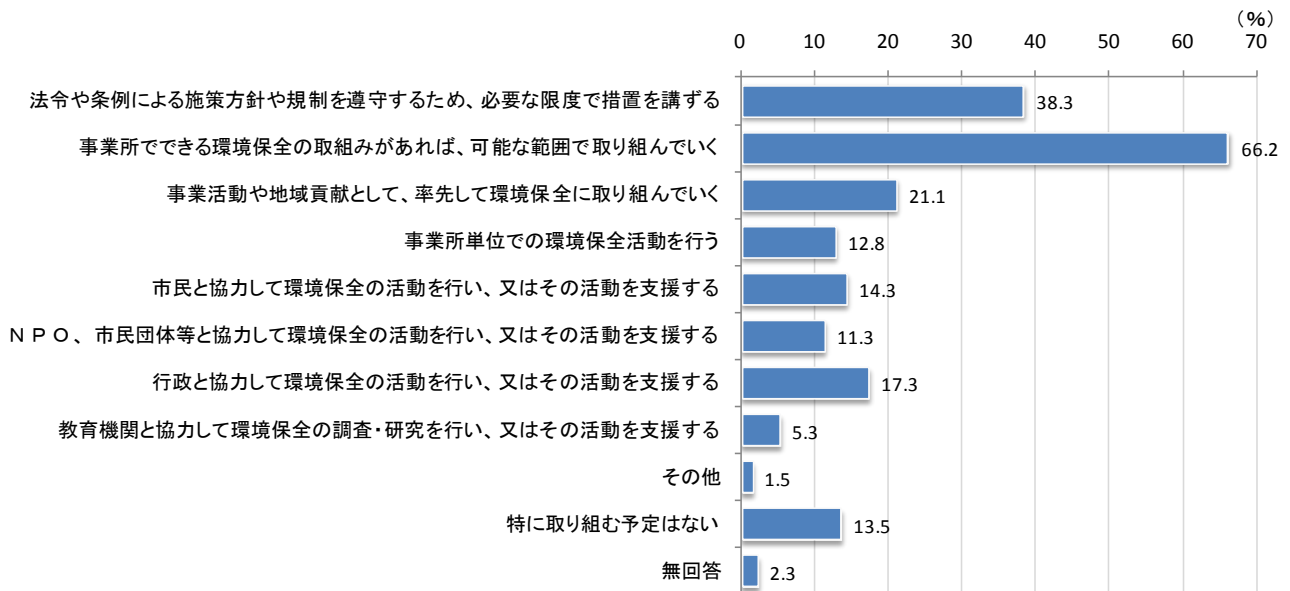


図 29 今後取り組む予定の環境保全の取組み

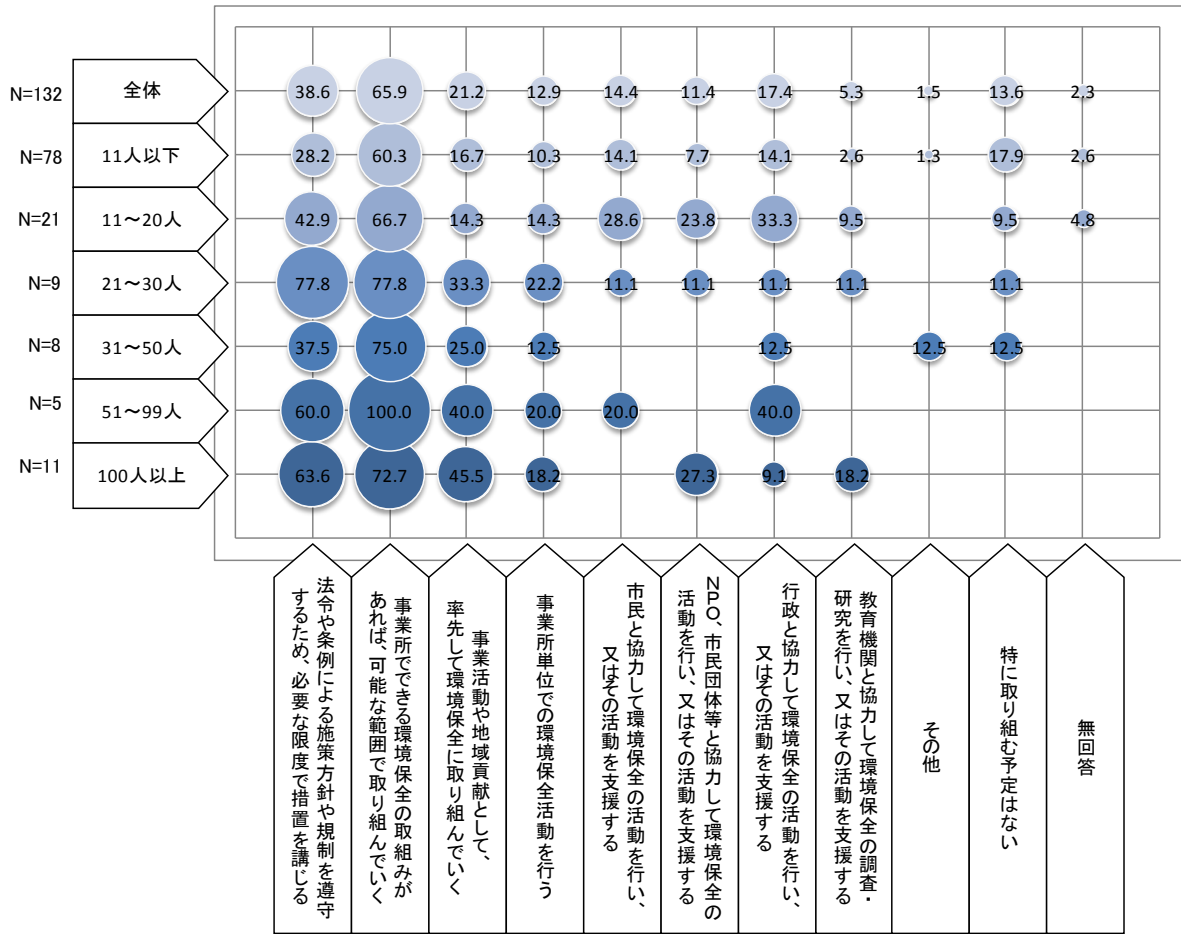


図 30 「今後取り組む予定の環境保全の取組み」と「事業所の従業員数」のクロス集計結果

【事業者】

(N=133)

貴事業所が、より積極的に環境保全活動に取り組んでいくためには、どのようなことが必要と考えますか。あてはまるものを3つまで選んで、番号に○を付けてください。

・環境保全により積極的に取り組むために必要なもの

- ① コストの削減等の取組みによる直接的なメリットがあること 53.4%
- ② 補助金の交付、税負担の軽減等による取組みの促進支援があること 42.1%
- ③ 取組みの成果として環境保全の効果が目に見えること 40.6%

○直接的なメリットや財政支援があることで積極的に取り組みやすいことがわかる。

○取組みの成果が目に見える形で実感できるということも重要な要素となる。

○取組方法や環境問題の情報提供や技術指導等の支援については、全般的に要望度が低い。

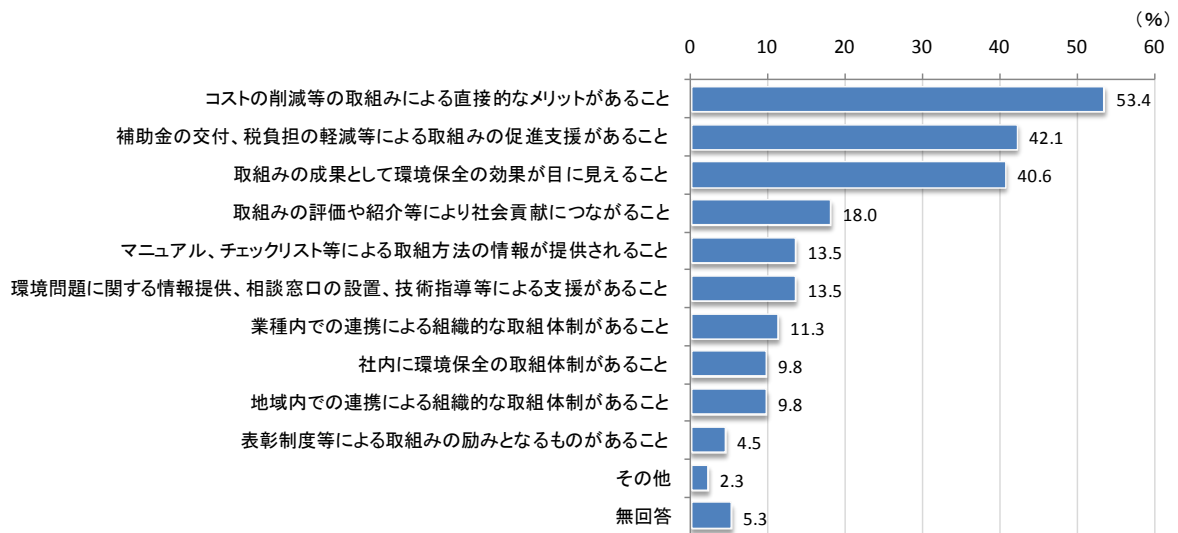


図 31 環境保全により積極的に取り組むために必要なもの

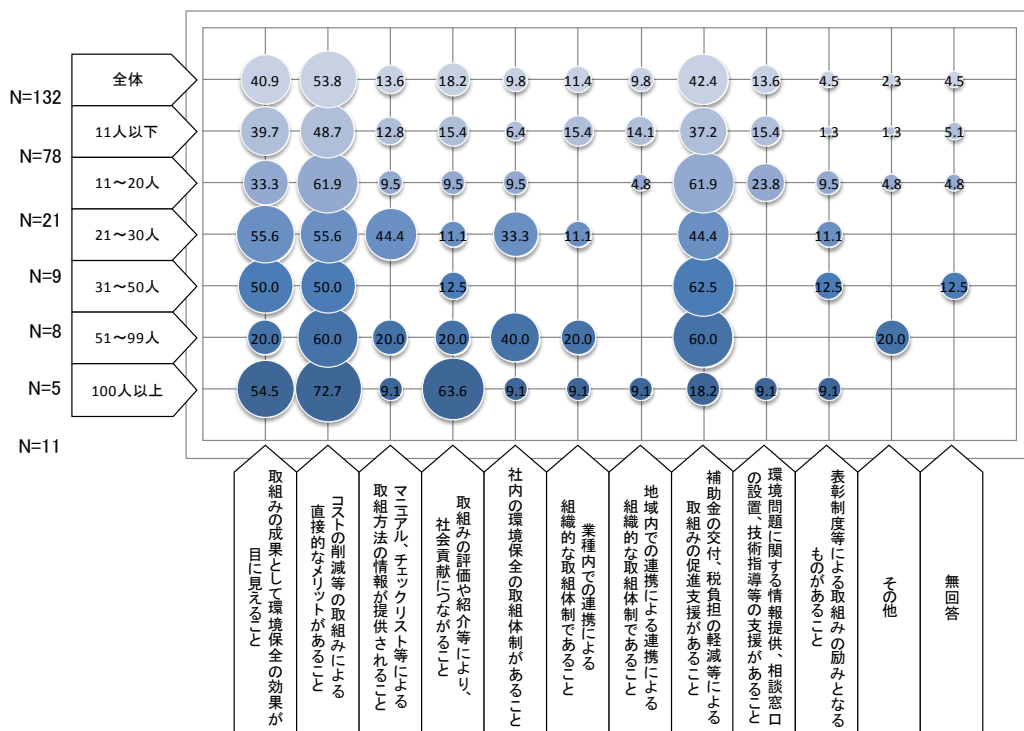


図 32 「より積極的に環境保全につながる取組みを行うために必要なこと」と「事業所の従業員数」のクロス集計結果

行政による環境保全の取組みについて

【事業者】

(N=133)

貴事業所では、これからの津島市の環境のために、行政として、どのような分野について重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。次の各項目について、貴事業所の考え方に近いものを1つ選んで、番号に○を付けてください。

・行政が重点的に取り組むべき分野として高い項目

- ① リサイクル・廃棄物 84.2%
- ② 水環境の保全 83.5%
- ③ その他の公害対策 74.4%

○全体的には概ね市民と同様の結果である。

○生活環境に関することについて、重点的に取り組んでいくべきという意見が多いが、これまで行政が重点的に取り組んできた分野でもある。

○環境学習に関することについては、わからないとの回答がいずれも3割前後を占めており、行政の課題としての認識が進んでいないと思われる。

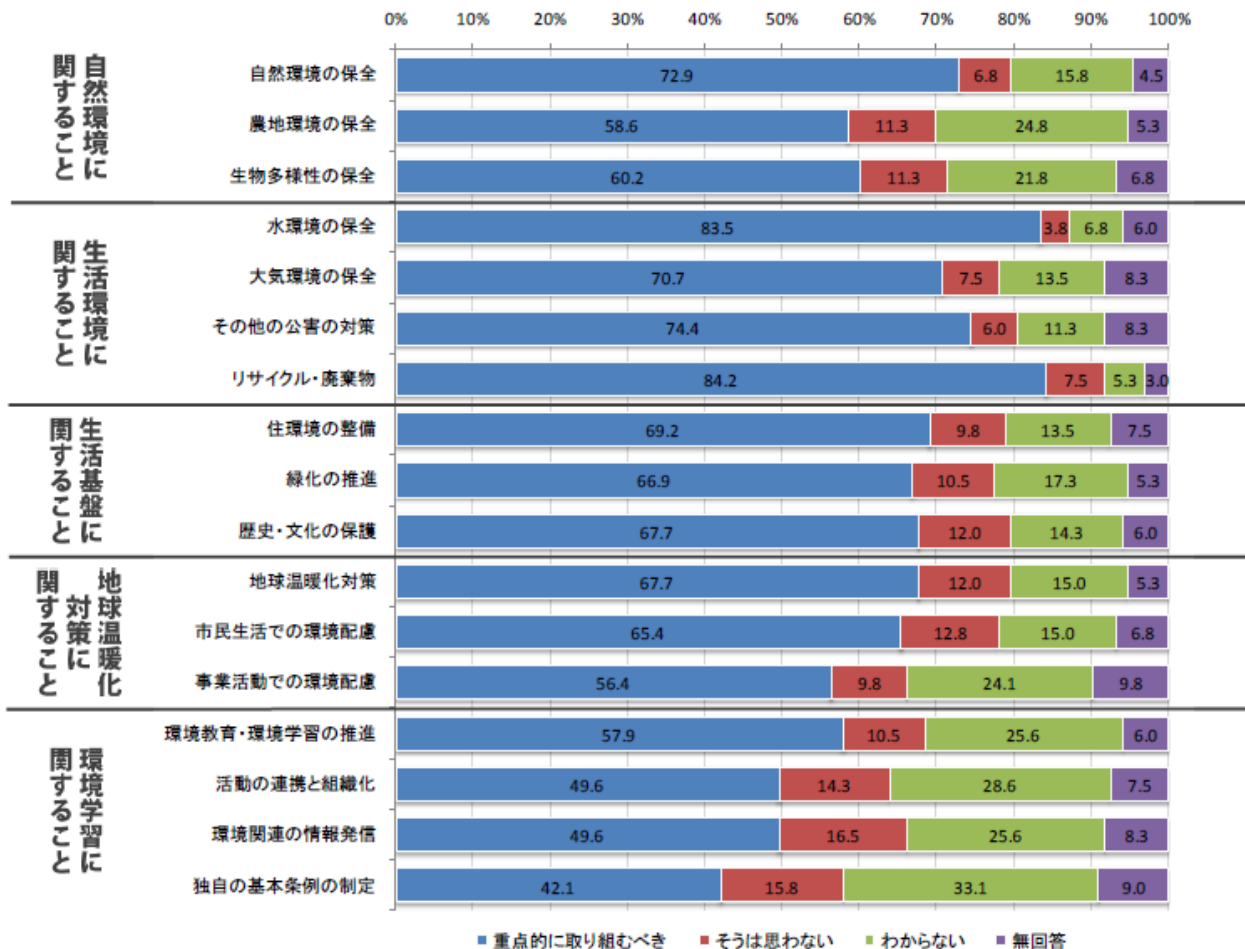


図 33 行政が重点的に取り組むべき分野

将来の津島市の環境について

【事業者】 (N=133)
 貴事業所が考える 20 年後の津島市において、こうあって欲しいと望む環境の姿について、あてはまるものを 3 つまで選んで、番号に○を付けてください。

・ 20 年後の津島市の望ましい環境の姿についての高い項目

- ① 川や池の水がきれい 40.6%
- ② 歴史や伝統文化が息づいている 35.3%
- ③ 空気がきれい 32.3%

- 上位の項目は、概ね 18 歳以上の市民や小中学生と同様の結果になっている。
- 「防災・減災の取組みが進んで災害に強い」については、市民に比べて低い結果である。
- 「川や池の水がきれい」、「歴史や伝統文化が息づいている」の項目の割合は、市民より高い結果である。

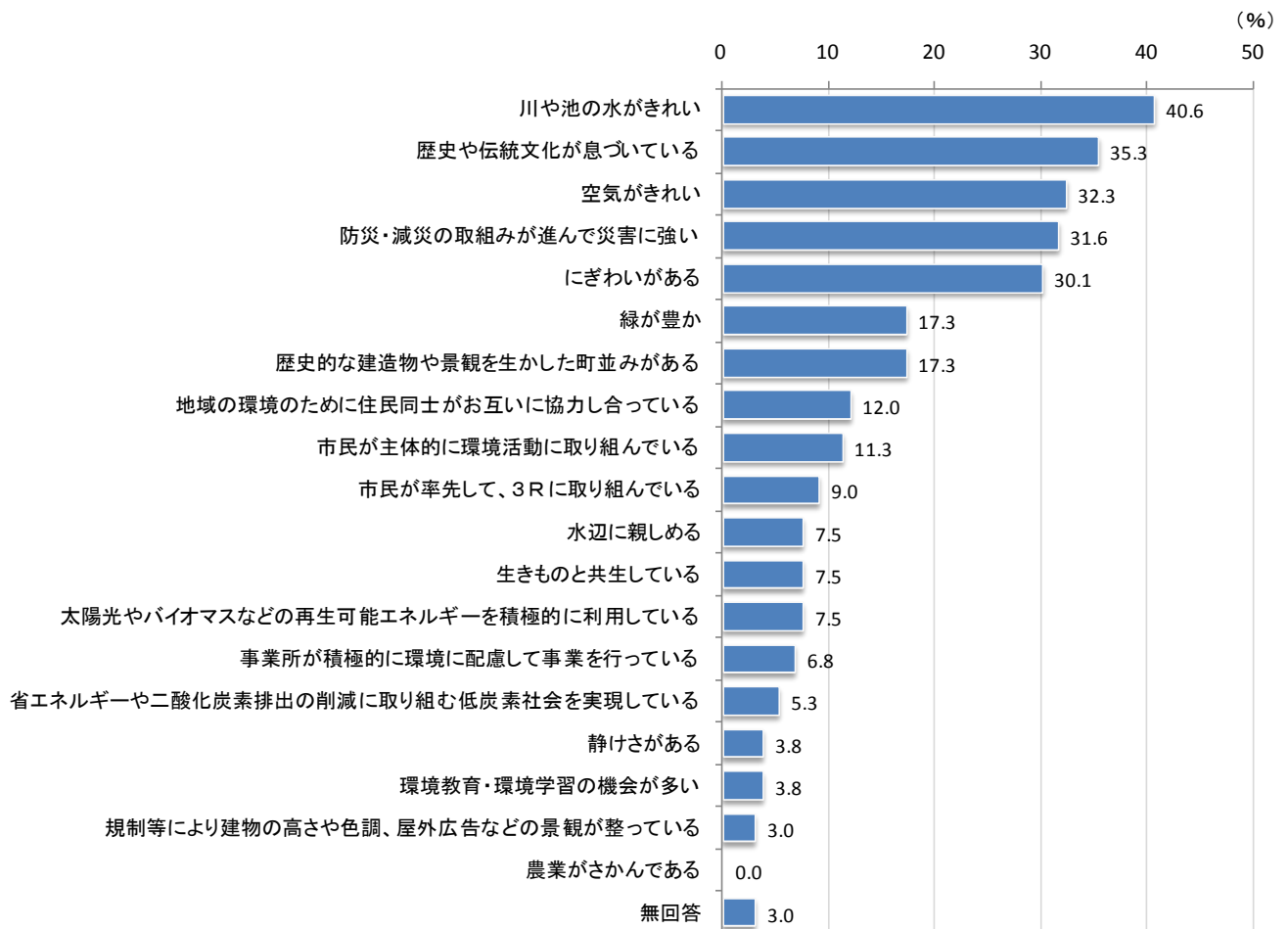


図 34 20 年後の津島市の望ましい環境の姿 (事業者)

【事業者】

(N=133)

20年後の津島市の環境の姿の実現に向けて、貴事業所が日頃行っていることや今後行っていきたいことについて、自由に書いて下さい。

■主な回答（括弧内は回答件数）

- ごみ減量、分別、3Rの推進（10）
- 歴史文化の活用（9）
- 環境マネジメントシステムの導入（6）
- 防災対策（4）
- まちの活性化、まちづくりの推進（4）
- エコカーなどの利用（2）
- 再生可能エネルギーの活用（2）
- 自然の保全（3）
- 景観の配慮（1）
- 環境に配慮して事業を実施（1）
- 環境教育・環境学習（1）
- 環境に配慮した建物の設計（1）
- 歴史と伝統の町・津島のPRやイベントに協力する（1）

など

津島市の環境についての提案

【事業者】

(N=133)

津島市の環境について、ご提案がありましたら、自由に書いてください、

■主な回答（括弧内は回答件数）

- 道路などの交通環境の改善（3）
- ごみ分別、削減（3）
- 歴史文化の活用（3）
- ペットのマナー対策（2）
- 水質改善（2）
- 防災対策（2）
- まちの活性化（1）
- 地産地消の推進（1）
- 企業の誘致（1）
- 公園施設の整備（1）
- 生活エリアと商業産業エリアの住み分けが必要。インフラ整備も計画的に行う（1）

など